

Ⅲ 設問間クロス集計データ

(1) あなたの健康

① 体重についての意識 (問10イ)

BMI区分 (問10ア) 別にみると、「今より増やしたい」は「やせ」で40.5%と高くなっている。「今より少し (4kg以内) 減らしたい」は普通で39.1%と高く、「今よりかなり (4kgを超えて) 減らしたい」は肥満で54.5%と高くなっている。(図1-1-2)

図1-1-2 体重についての意識 (問10イ) (BMI区分別)

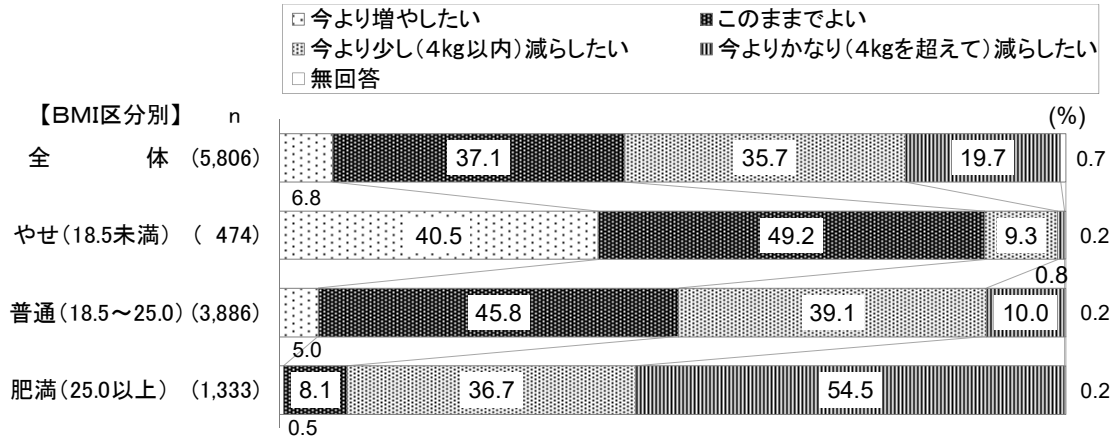


表1-1-1 体重についての意識 (問10イ) (BMI区分別・性別)

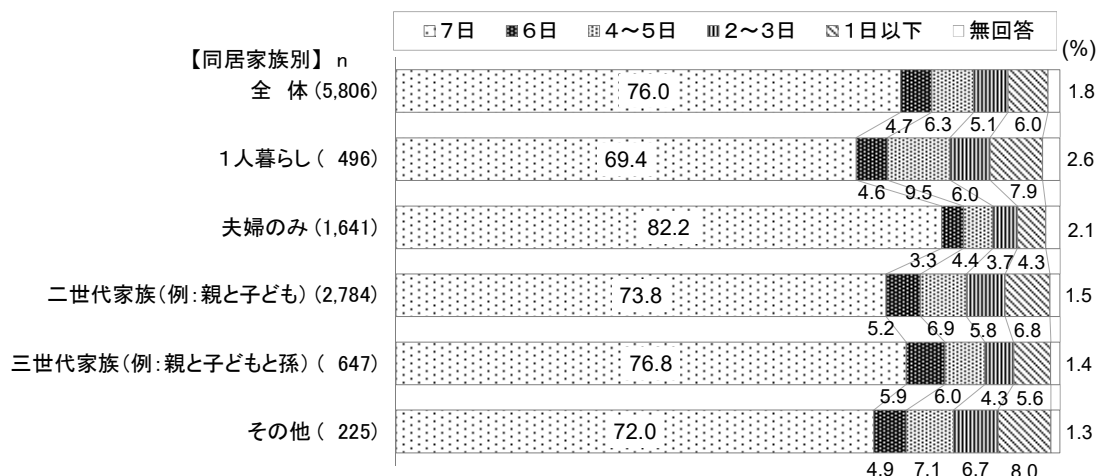
		n	今より増やしたい				無回答	上段：実数、下段：構成比 (%)						
			今より増やしたい	このままでよい	内)減らしたい	今より少し(4kg以内)		今よりかなり(4kgを超えて)減らしたい	無回答	今より増やしたい	このままでよい	内)減らしたい	今より少し(4kg以内)	今よりかなり(4kgを超えて)減らしたい
性別	男性全体	2,600	220	1,054	846	464	16	女性全体	3,206	175	1,099	1,227	681	24
	やせ (BMIが18.5未満)	123	80	41	0	2	0	やせ (BMIが18.5未満)	351	112	192	44	2	1
	普通 (同18.5以上25.0未満)	1,706	133	928	541	103	1	普通 (同18.5以上25.0未満)	2,180	60	852	979	284	5
	肥満 (同25.0以上)	733	7	76	296	354	0	肥満 (同25.0以上)	600	0	32	193	373	2
	無回答	38	0	9	9	5	15	無回答	75	3	23	11	22	16

(2) 栄養・食生活

① 1週間に朝食をとる回数 (問12)

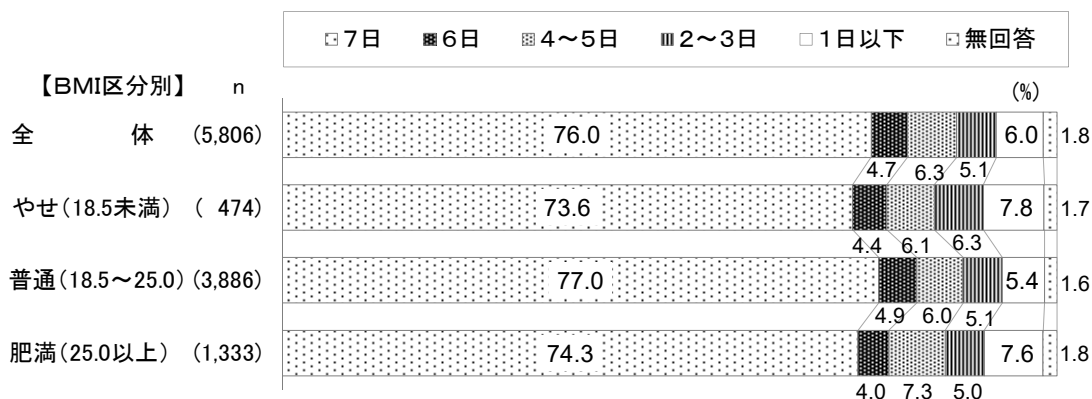
同居家族別にみると、「7日」は「夫婦のみ」で82.2%と最も高く、「1人暮らし」で69.4%と最も低くなっている。また、「7日」は「三世代家族」(76.8%)が「二世代家族」(73.8%)より3.0ポイント高くなっている。(図2-1-1)

図2-1-1 1週間に朝食をとる回数 (同居家族別)



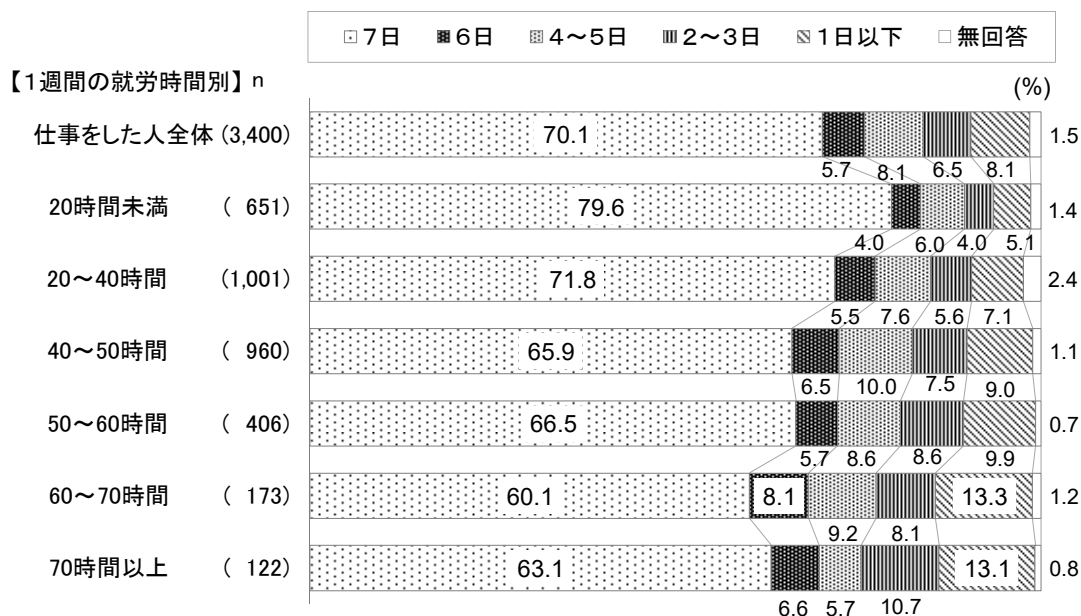
BMI区分 (問10ア) 別にみると、「7日」は「普通」で77.0%と最も高く、「肥満」(74.3%)、「やせ」(73.6%)の順となっている。(図2-1-2)

図2-1-2 1週間に朝食をとる回数 (BMI区分別)



1週間の就労時間（問24-1）別にみると、「7日」は「20時間未満」で79.6%と最も高く、「60～70時間」で60.1%と最も低くなっている。（図2-1-3）

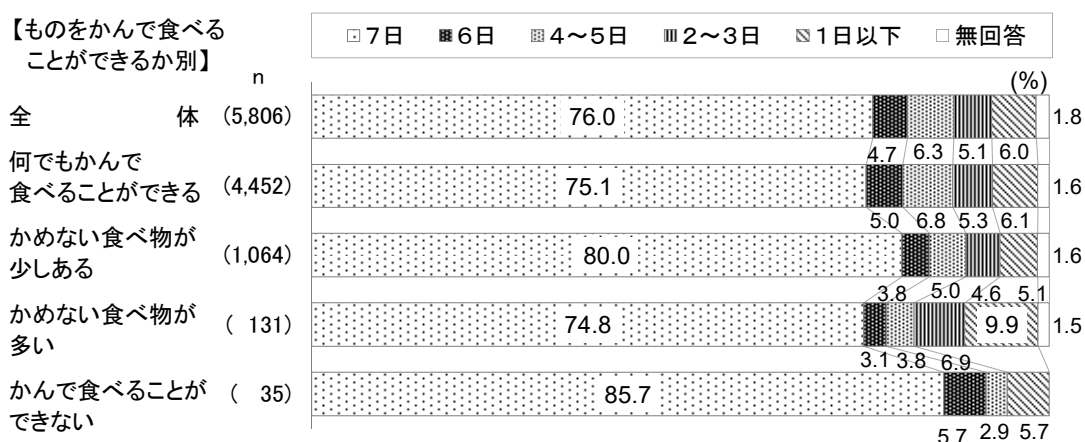
図2-1-3 1週間に朝食をとる回数（1週間の就労時間別）



ものをかんで食べることができるか（問34）別にみると、「7日」は「かんで食べることができない」で85.7%と最も高く、「かめない食べ物が多い」で74.8%と最も低くなっている。

（図2-2-4）

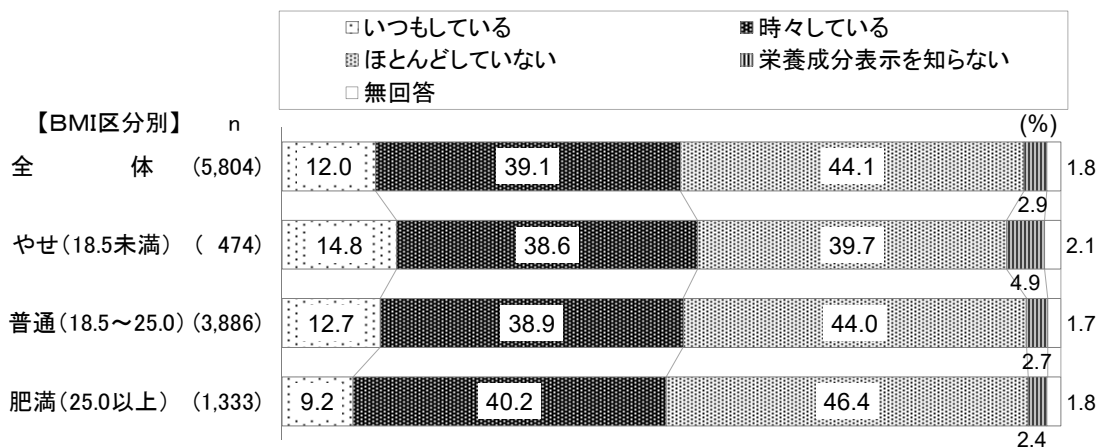
図2-1-4 1週間に朝食をとる回数（ものをかんで食べることができるか別）



② 栄養成分の表示を参考にしているか（問13）

BMI区分（問10ア）別にみると、「いつもしている」は「やせ」で14.8%と高くなっている。一方、「ほとんどしていない」は「普通」（44.0%）、「肥満」（46.4%）が「やせ」（39.7%）より高くなっている。（図2-2-1）

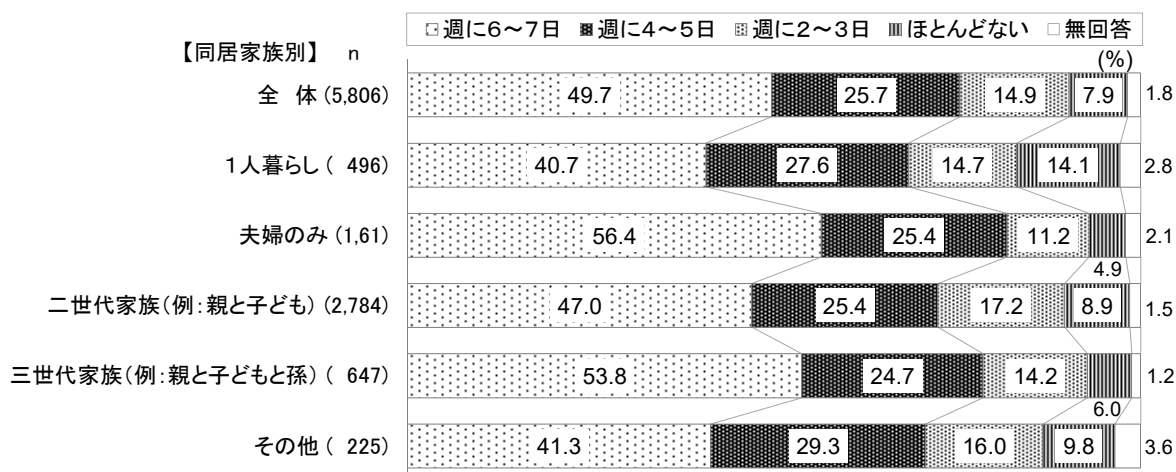
図2-2-1 栄養成分の表示を参考にしているか（BMI区分別）



③ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）

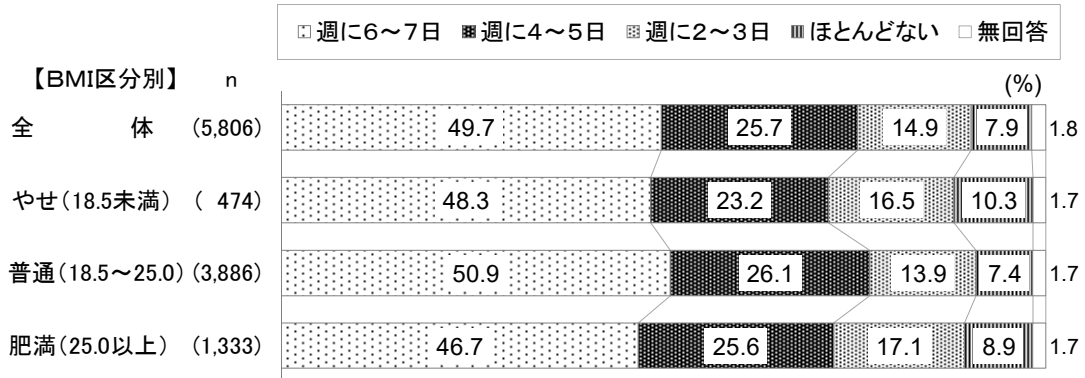
同居家族別にみると、「週に6~7日」は「夫婦のみ」で56.4%と最も高く、「1人暮らし」は40.7%となっており、同居家族がいる人に比べて低くなっている。（図2-3-1）

図2-3-1 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（同居家族別）



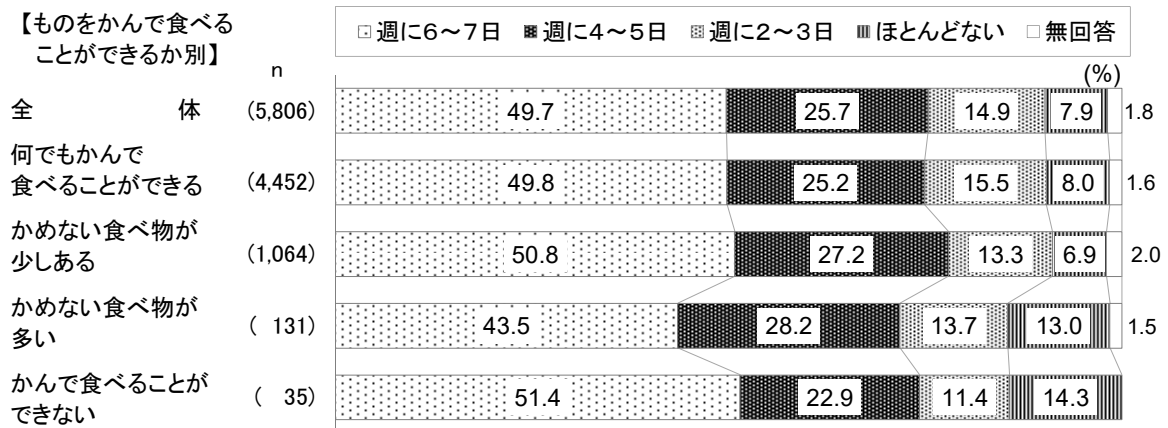
BMI区分（問10ア）別にみると、「週に6～7日」は、「普通」で50.9%と最も高く、「肥満」で46.7%と低くなっている。（図2-3-2）

図2-3-2 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（BMI区分別）



ものをかんで食べることができるか（問34）別にみると、「週に6～7日」は、「かんで食べるができない」「かめない食べ物が少しある」で高く、「何でもかんで食べるができる」「かめない食べ物が多い」で低くなっている。（図2-3-3）

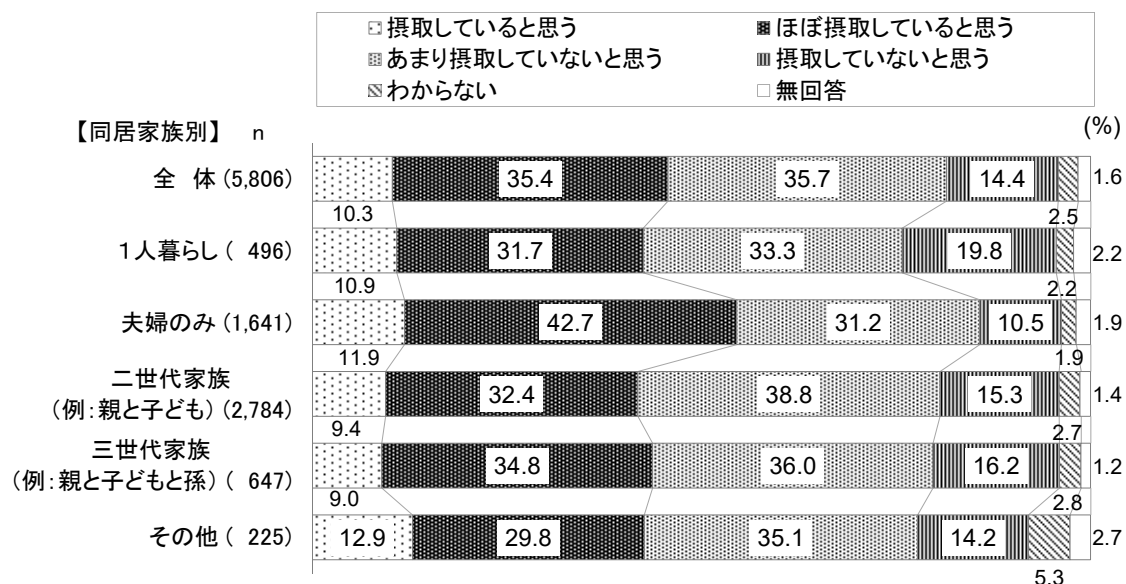
図2-3-3 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（ものをかんで食べるができるか別）



④ 野菜摂取についての意識（問 15）

同居家族別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、二世世代家族で54.1%と最も高くなっている。（図2-4-1）

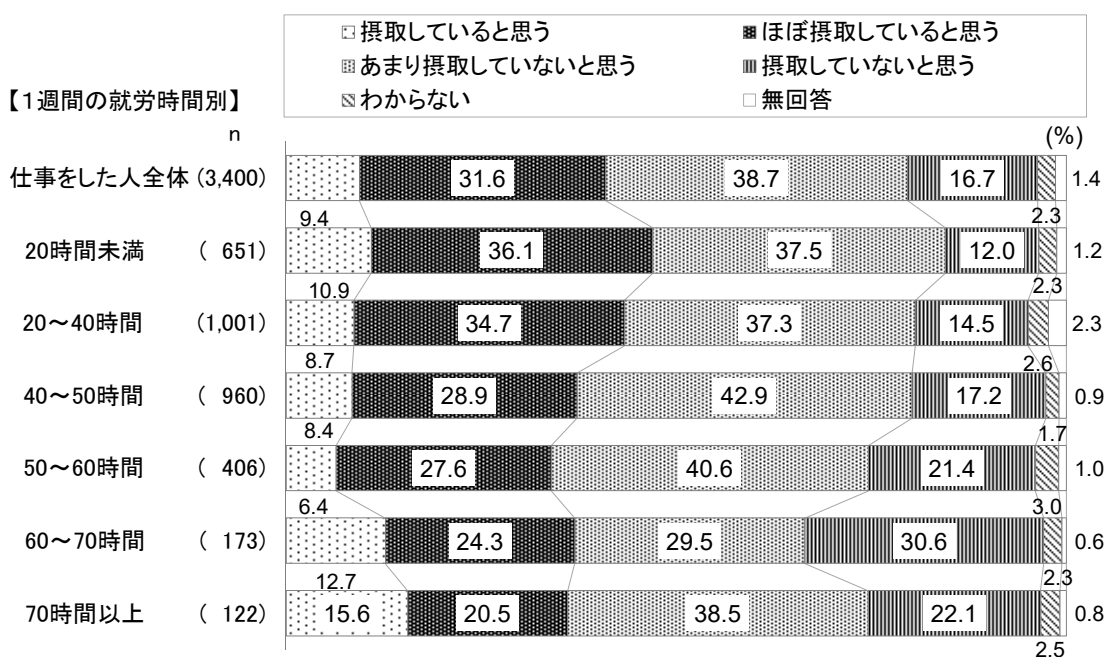
図2-4-1 野菜摂取についての意識（同居家族別）



1週間の就労時間（問24-1）別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、50～60時間で62.0%と最も高くなっている。

（図2-4-2）

図2-4-2 野菜摂取についての意識（1週間の就労時間別）

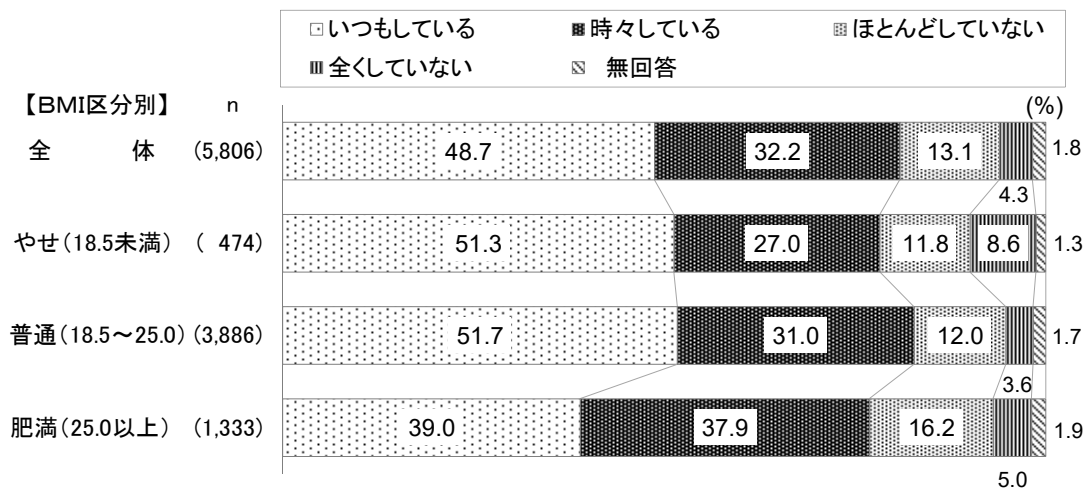


(3) 身体活動・運動

① 日頃の身体活動の状況 (問 17)

BMI 区分 (問10ア) 別にみると、「いつもしている」は「やせ」で51.3%、「普通」で51.7%となっており、「肥満」(39.0%)より高くなっている。(図3-1-1)

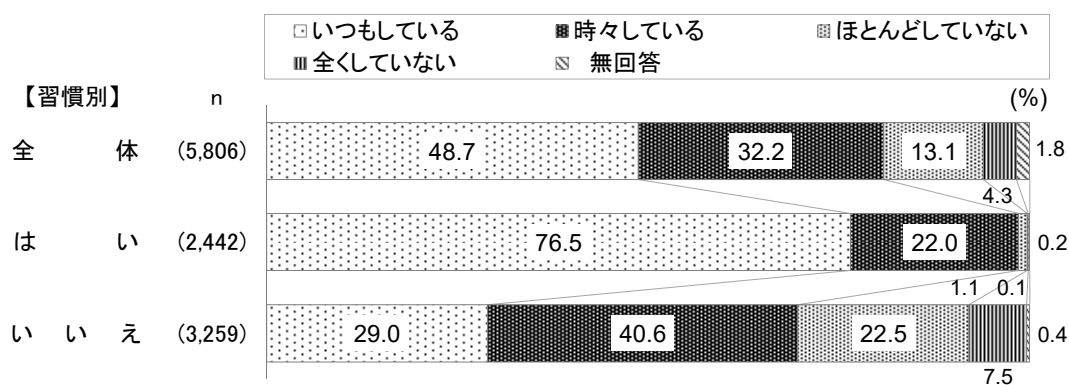
図3-1-1 日頃の身体活動の状況 (BMI 区分別)



運動の習慣 (問18) 別にみると、「いつもしている」は「はい」で48.7%、「いいえ」で29.0%となっており、運動の習慣がない人に比べて割合が高くなっている。

(図3-1-2)

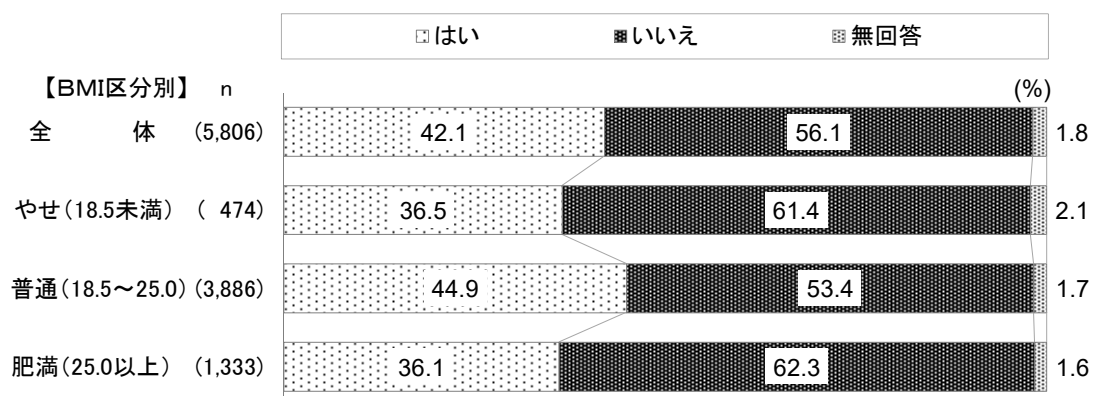
図3-1-2 日頃の身体活動の状況 (運動の習慣別)



② 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）の実施状況（問18）

BMI区分（問10ア）別にみると、「はい」は「普通」で44.9%となっており、「やせ」（36.5%）、肥満（36.1%）より高くなっている。（図3-2-1）

図3-2-1 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）の実施状況（BMI区分別）

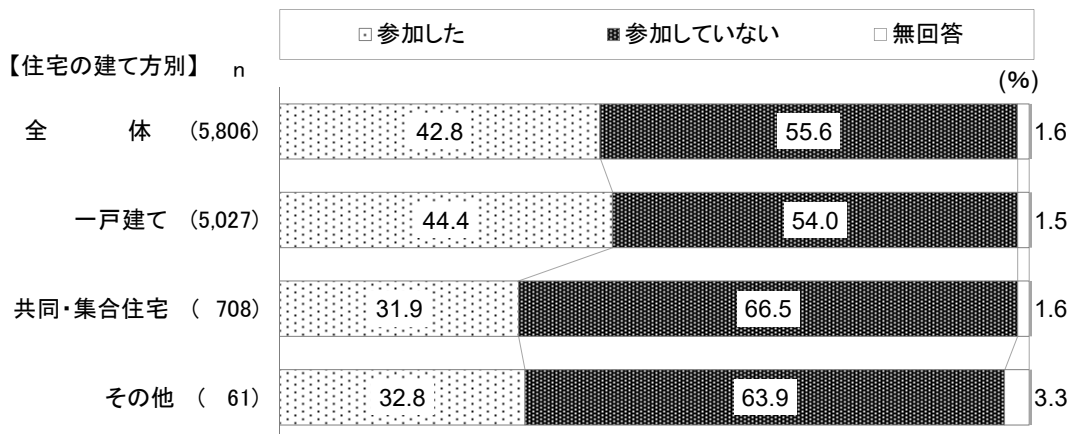


(4) 地域のつながり

① 地域活動への参加状況 (問19)

住宅の建て方別にみると、「参加した」は「一戸建て」で44.4%となっており、「共同・集合住宅」(31.9%)より高くなっている。(図4-1-1)

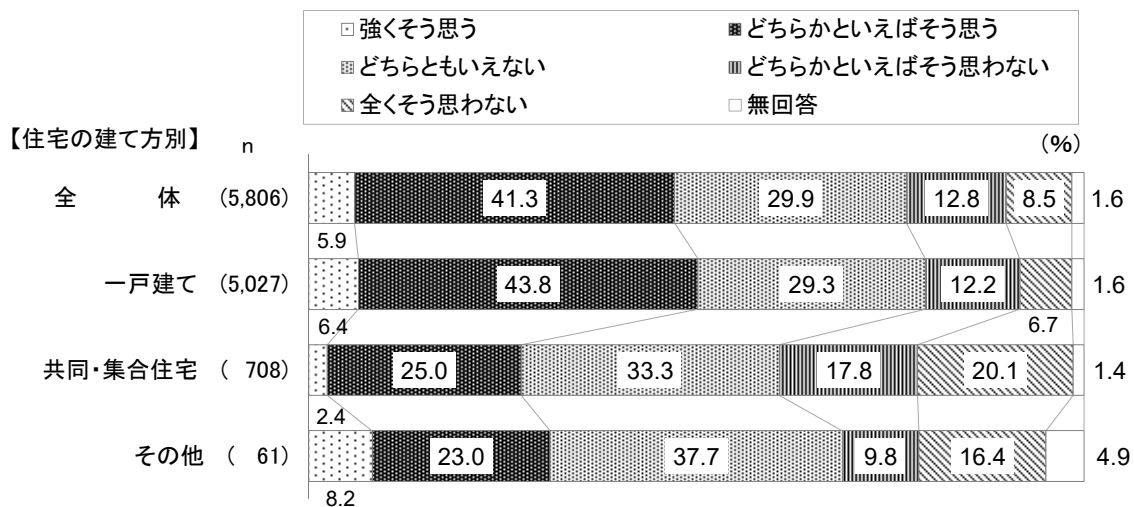
図4-1-1 地域活動への参加状況 (住宅の建て方別)



② 地域における助け合いについての意識 (問20)

住宅の建て方別にみると、「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の2つを合わせた《そう思う》は「一戸建て」で50.2%となっており、「共同・集合住宅」(27.4%)より高くなっている。(図4-2-1)

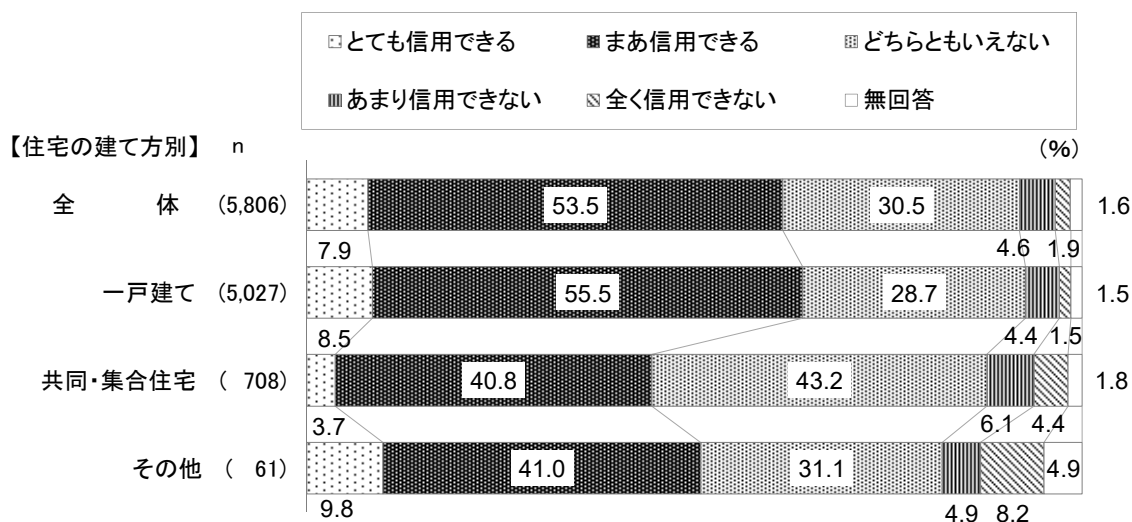
図4-2-1 地域における助け合いについての意識 (住宅の建て方別)



③ 地域の人々に対する信頼感（問21）

住宅の建て方別にみると、「とても信用できる」と「どちらかといえば信用できる」の2つを合わせた《信用できる》は「一戸建て」で64.0%となっており、「共同・集合住宅」(44.5%)より高くなっている。(図4-3-1)

図4-3-1 地域の人々に対する信頼感（住宅の建て方別）

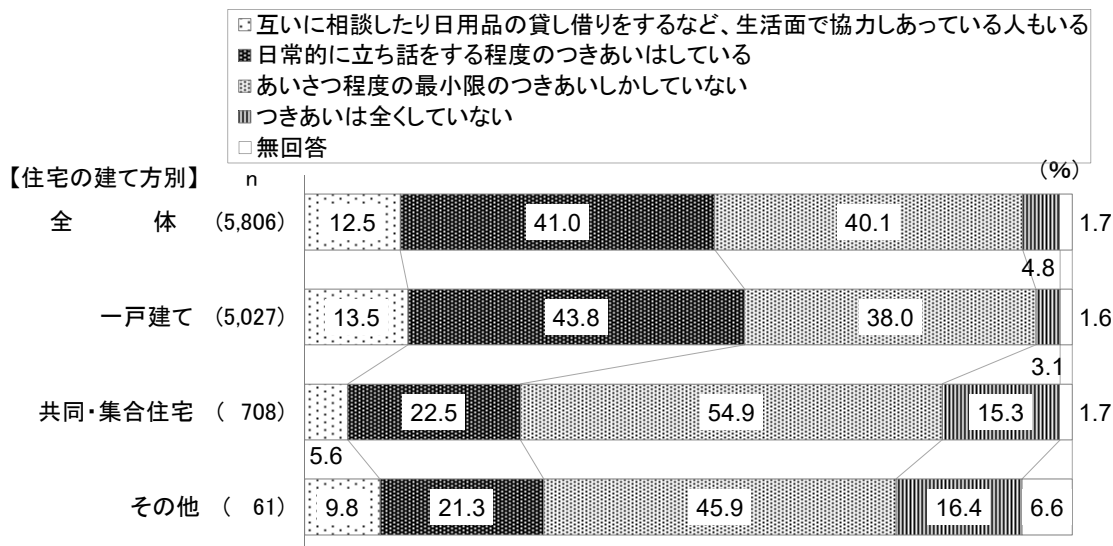


④ 近所とのつきあい（問22）

住宅の建て方別にみると、「お互いに相談したり、日用品の貸し借りをする人もいる」と「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」の2つを合わせた《つきあいをしている》は「一戸建て」で57.3%となっており、「共同・集合住宅」(28.1%)より高くなっている。

(図4-4-1)

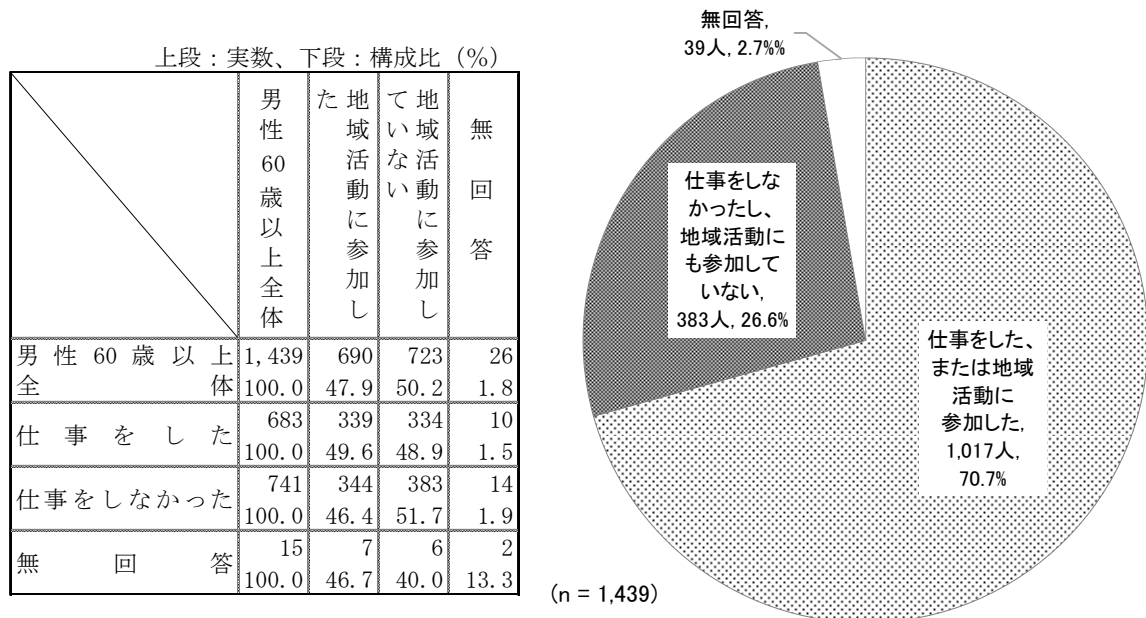
図4-4-1 近所とのつきあい（住宅の建て方別）



⑤ 60歳以上の方の地域活動への参加状況（問 19）と就労状況（問 24）

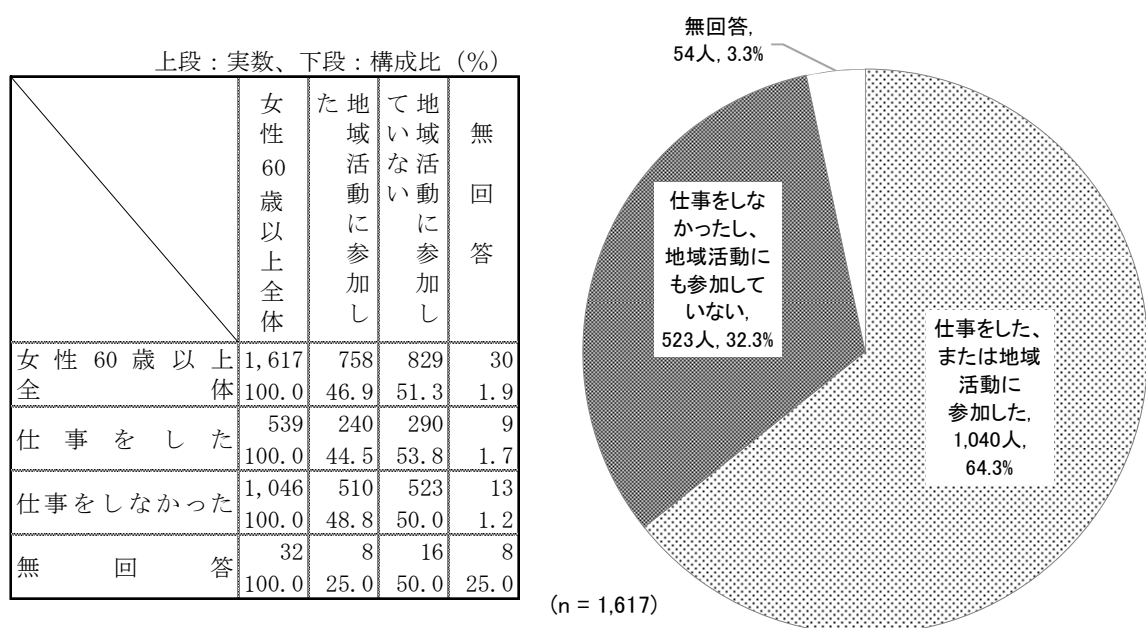
60歳以上の男性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は70.7%、どちらも行っていない人の割合は26.6%となっている。（図 4-1-2）

図 4-1-2 男性60歳以上の地域活動への参加状況と就労状況



60歳以上の女性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は64.3%、どちらも行っていない人の割合は32.3%となっている。（図 4-1-3）

図 4-1-3 女性60歳以上の地域活動への参加状況と就労状況

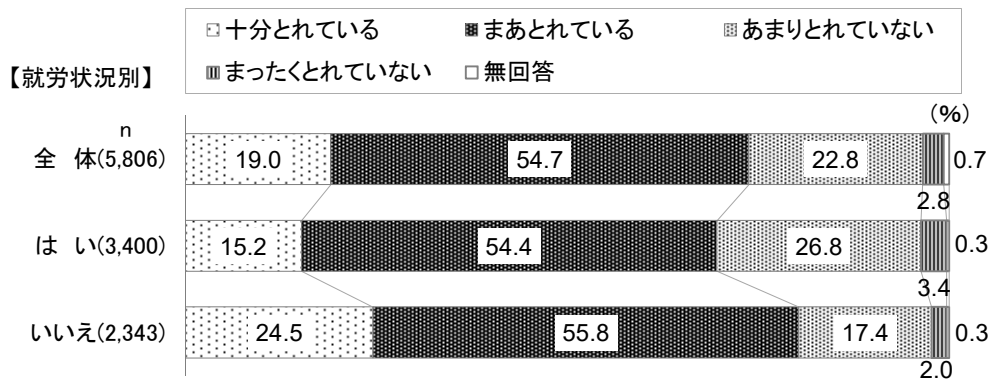


(5) 休養・こころの健康づくり

① 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (問23)

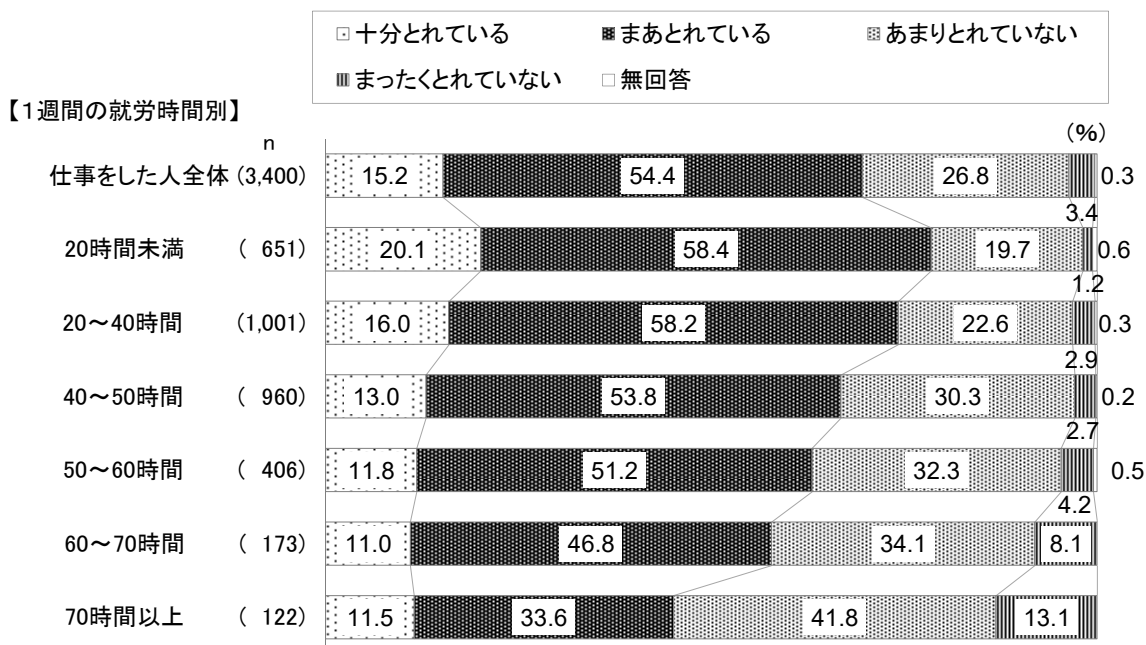
就労状況 (問24) 別にみると、「あまりとれていない」と「全くとれていない」の2つを合わせた《とれていない》は、仕事をした人で30.2%と高くなっている。(図5-1-1)

図5-1-1 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (就労状況別)



1週間の就労時間 (問24-1) 別にみると、「あまりとれていない」と「全くとれていない」の2つを合わせた《とれていない》は、70時間以上で54.9%と最も高くなっている。(図5-1-2)

図5-1-2 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (1週間の就労時間別)

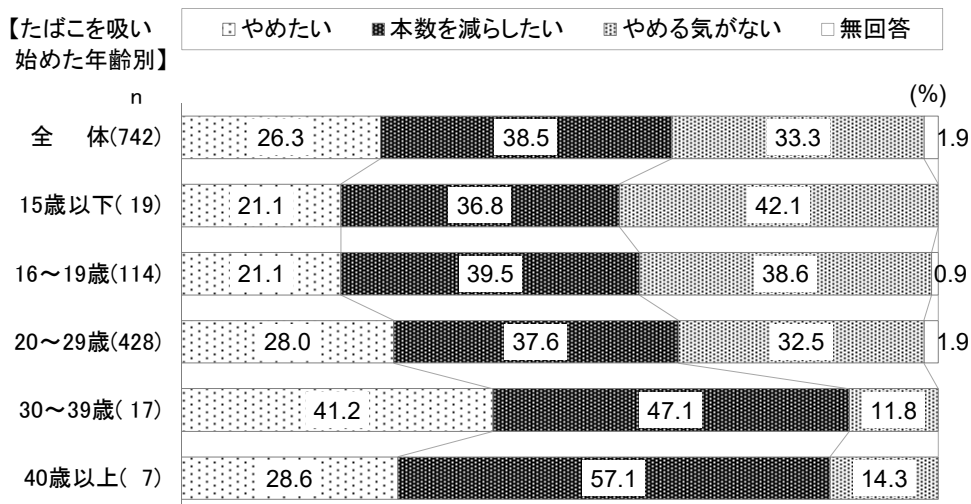


(6) たばこ

① 喫煙に対する考え (問 25-4)

たばこを吸い始めた年齢 (問25-1) 別にみると、「やめたい」は「15歳以下」と「16~19歳」で21.1%と最も低くなっている。(図6-1-1)

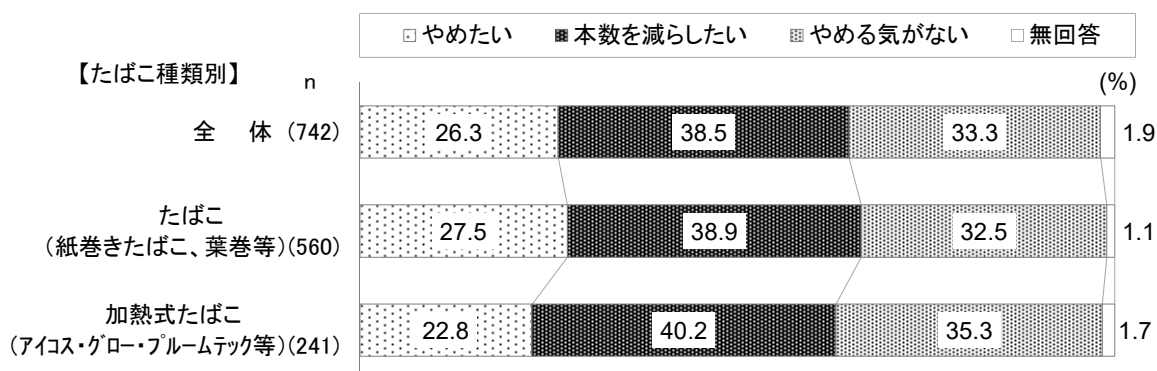
図6-1-1 喫煙に対する考え (たばこを吸い始めた年齢別)



たばこ種類 (問25-2) 別にみると、「やめたい」は「たばこ」の喫煙層で高くなっている。

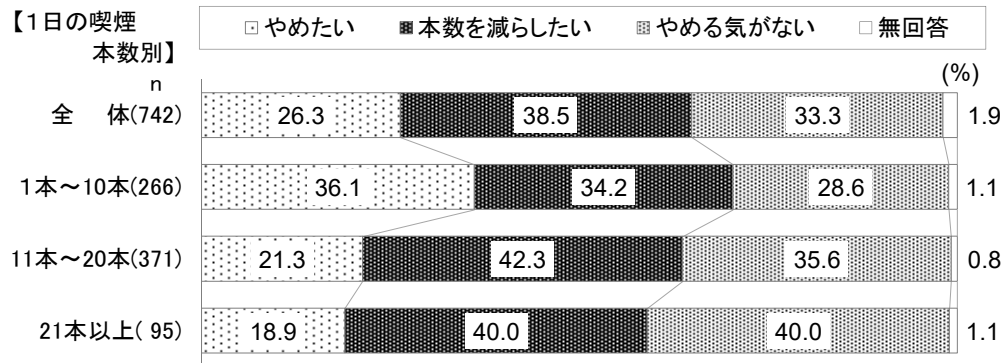
(図6-1-2)

図6-1-2 喫煙に対する考え (たばこ種類別)



1日の喫煙本数（問25-3）別にみると、「やめたい」は喫煙本数が少ない人ほど高くなっている。「本数を減らしたい」は11本～20本で42.3%となっている。（図6-1-3）

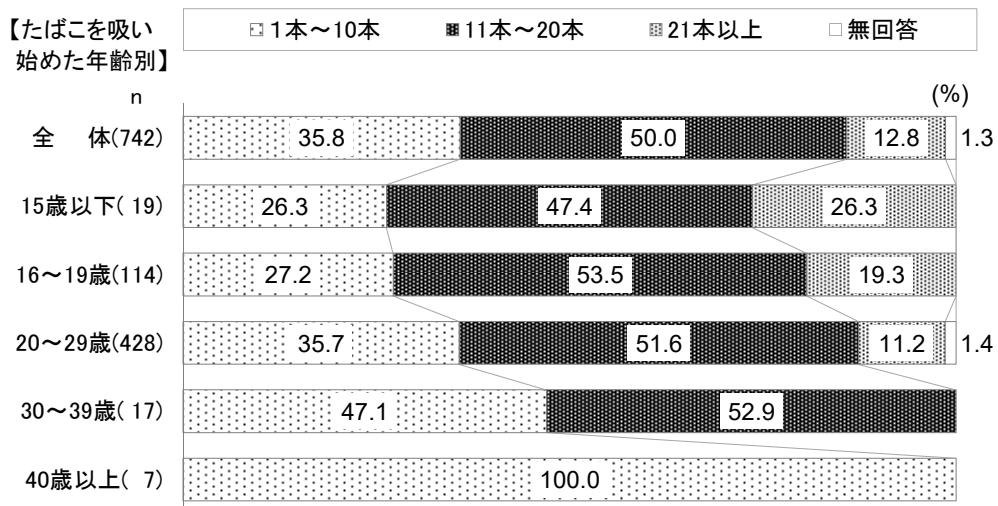
図6-1-3 喫煙に対する考え（1日の喫煙本数別）



② 1日の喫煙本数（問25-3）

たばこを吸い始めた年齢（問25-1）別にみると、若年ほど「21本以上」の回答が高くなる傾向がみられる。（図6-2-1）

図6-2-1 1日の喫煙本数（たばこを吸い始めた年齢別）



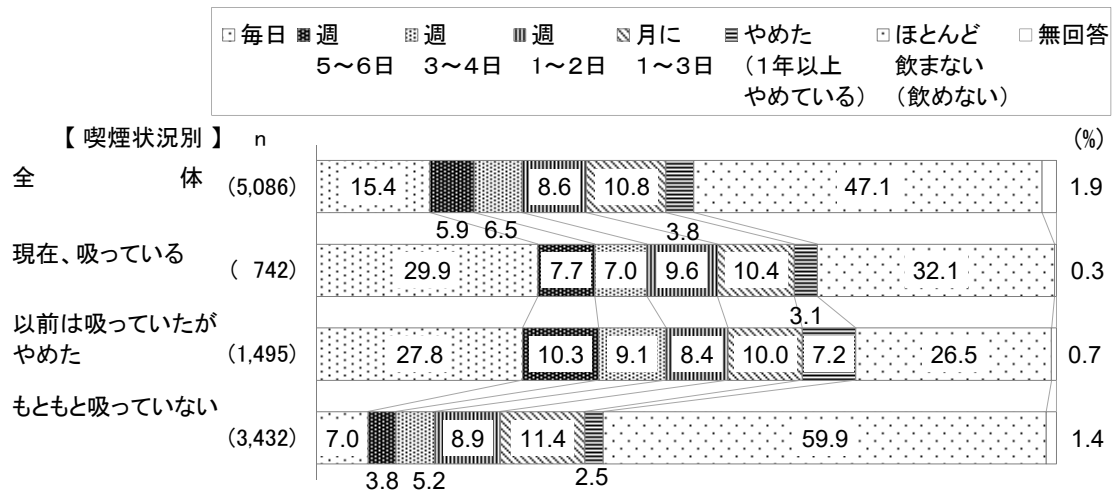
(7) お酒（アルコール）

① 飲酒状況（問 26）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほとんど飲まない（飲めない）」と「やめた（1年以上やめている）」の2つを合わせた《飲まない》は、もともと吸っていない人で62.4%と高くなっている。「毎日」は現在吸っている人で29.9%、以前は吸っていたがやめた人で27.8%と高くなっている。

(図 7-1-1)

図 7-1-1 飲酒状況（喫煙状況別）



② 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合※（問 26、問 26-1）

男性

男性で、飲酒する人（無回答者を除く1,642人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は330人（20.1%）となっている。（表7-2-1）

男性で、飲酒しない人（927人）を含めた回答者（無回答者を除く2,569人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は330人（12.8%）となっている。

表7-2-1 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合(男性)

上段：実数、下段：構成比（%）

		男性で飲酒する人全体	1合（180ml）未満	1合以上2合（360ml）未満	2合以上3合（540ml）未満	3合以上4合（720ml）未満	4合以上5合（900ml）未満	5合（900ml）以上	無回答
			実数	構成比（%）	実数	構成比（%）	実数	構成比（%）	
（男性）	男性で飲酒する人全体	1,649	580	567	304	123	35	33	7
		100.0	35.2	34.4	18.4	7.5	2.1	2.0	0.4
	毎日	670	166	280	150	51	16	7	0
		100.0	24.8	41.8	22.4	7.6	2.4	1.0	0.0
	週5～6日	231	87	80	41	17	2	4	0
		100.0	37.7	34.6	17.7	7.4	0.9	1.7	0.0
週3～4日	235	102	69	38	17	3	3	3	
	100.0	43.4	29.4	16.2	7.2	1.3	1.3	1.3	
週1～2日	244	105	74	34	16	8	7	0	
	100.0	43.0	30.3	13.9	6.6	3.3	2.9	0.0	
月に1～3日	269	120	64	41	22	6	12	4	
	100.0	44.6	23.8	15.2	8.2	2.2	4.5	1.5	

※生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人…1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上
 男性：「週5日以上×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」
 女性：「週3日以上×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

女性

女性で、飲酒する人（無回答者を除く1,075人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は266人（24.7%）となっている。（表7-2-2）

女性で、飲酒しない人（2,024人）を含めた回答者全体（無回答者を除く3,099人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は266人（8.6%）となっている。

表7-2-2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（女性）

上段：実数、下段：構成比（%）

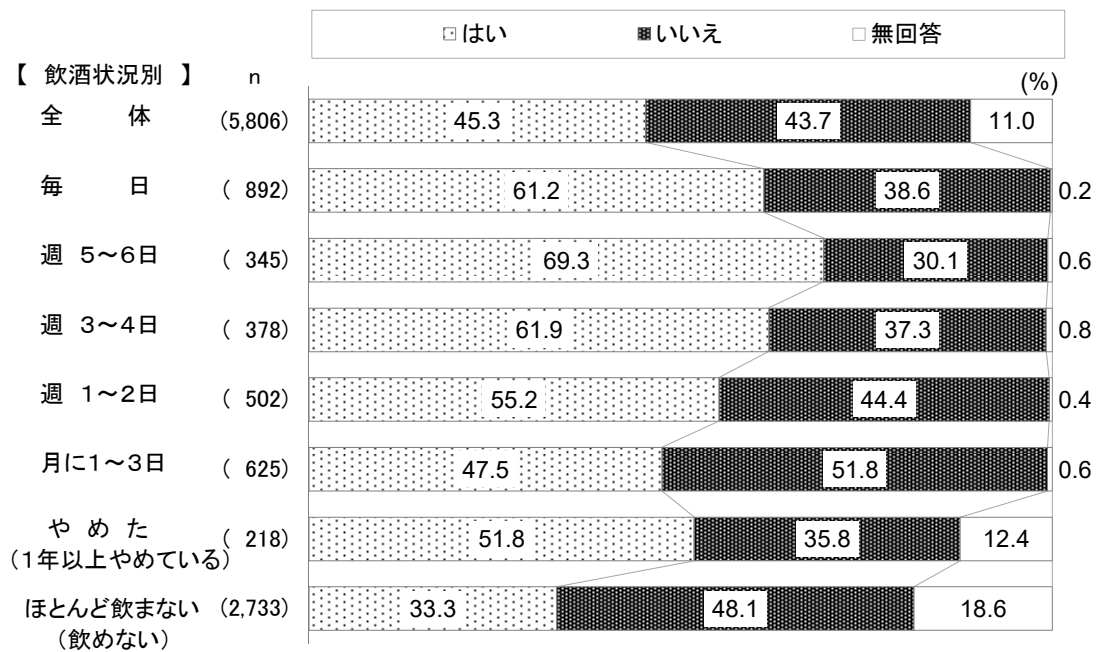
		女性で飲酒する人全体	1合（180ml）未満	未1合以上2合（360ml）未満	未2合以上3合（540ml）未満	未3合以上4合（720ml）未満	未4合以上5合（900ml）未満	5合（900ml）以上	無回答
女性	女性で飲酒する人全体	1,093	572	314	118	47	14	10	18
		100.0	52.3	28.7	10.8	4.3	1.3	0.9	1.6
	毎日	222	75	75	38	23	6	4	1
		100.0	33.8	33.8	17.1	10.4	2.7	1.8	0.5
	週5～6日	114	57	35	15	5	1	0	1
		100.0	50.0	30.7	13.2	4.4	0.9	0.0	0.9
	週3～4日	143	87	41	11	0	0	1	3
	100.0	60.8	28.7	7.7	0.0	0.0	0.7	2.1	
週1～2日	258	156	67	24	5	1	1	4	
	100.0	60.5	26.0	9.3	1.9	0.4	0.4	1.6	
月に1～3日	356	197	96	30	14	6	4	9	
	100.0	55.3	27.0	8.4	3.9	1.7	1.1	2.5	

※生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人…1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上
 男性：「週5日以上×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」
 女性：「週3日以上×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

③ 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(問27)

飲酒状況(問26)別にみると、「はい」は毎日飲酒する人で61.2%、週5～6日飲酒する人で69.3%、週3～4日飲酒する人で61.9%と高くなっている。(図7-3-1)

図7-3-1 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(飲酒状況別)



※節度ある適度な量を飲酒している人…1日平均純アルコールで約20g程度

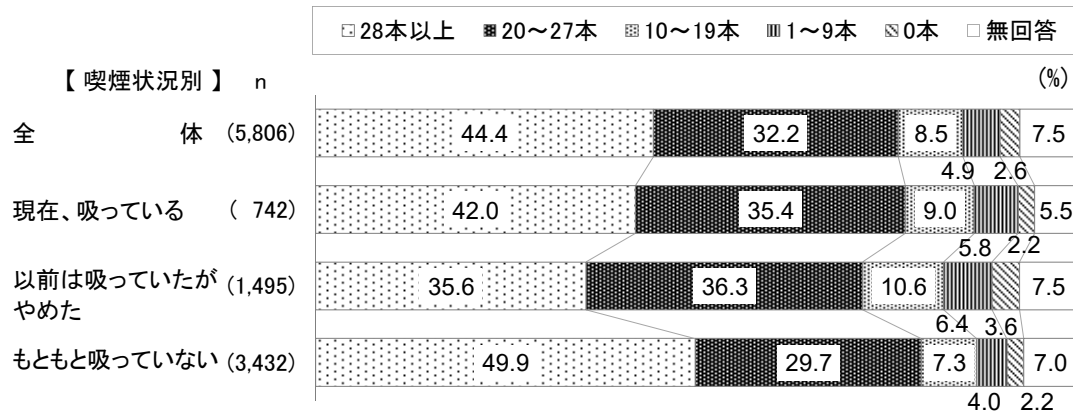
(8) 歯

① 歯の本数 (問 28)

喫煙状況 (問25) 別にみると、「28本以上」はもともと吸っていない人で49.9%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。

(図8-1-1)

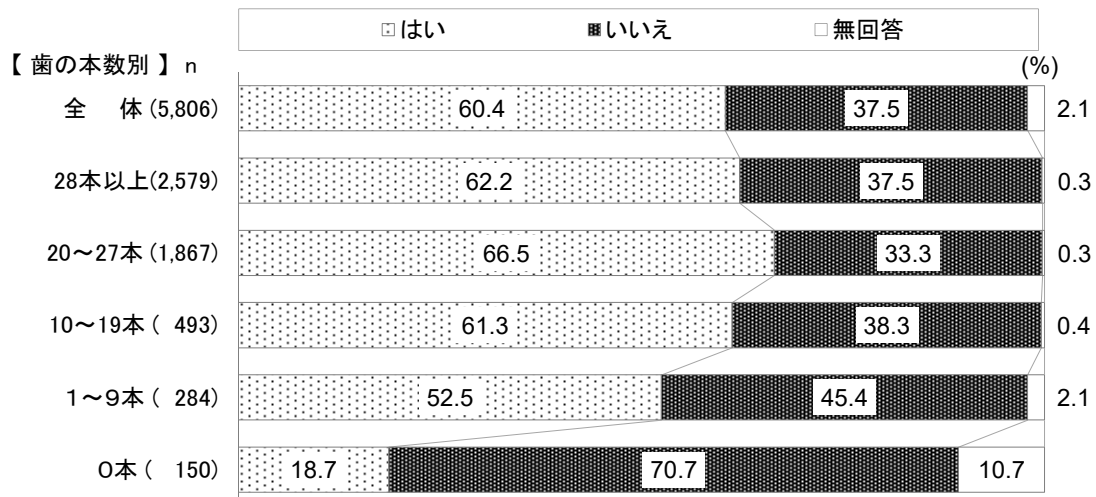
図8-1-1 歯の本数 (喫煙状況別)



② 最近1年間の歯の健康診査の受診状況 (問 29)

歯の本数 (問28) 別にみると、「はい」は20~27本ある人で66.5%と高くなっている。「いいえ」は0本の人で70.7%と高くなっている。(図8-2-1)

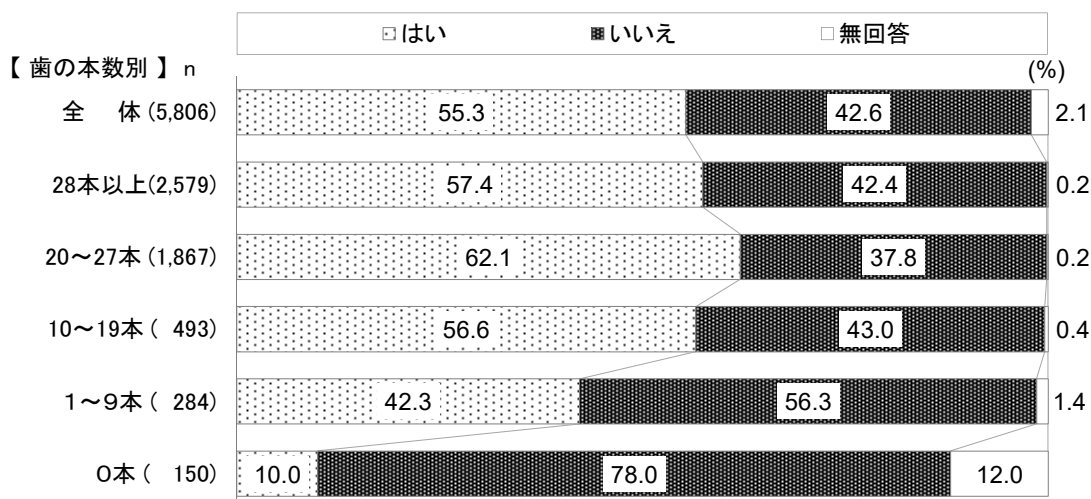
図8-2-1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況 (歯の本数別)



③ 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況（問30）

歯の本数（問28）別にみると、「はい」は20～27本ある人で62.1%と高くなっている。「いいえ」は1～9本の人で56.3%と高くなっている。（図8-3-1）

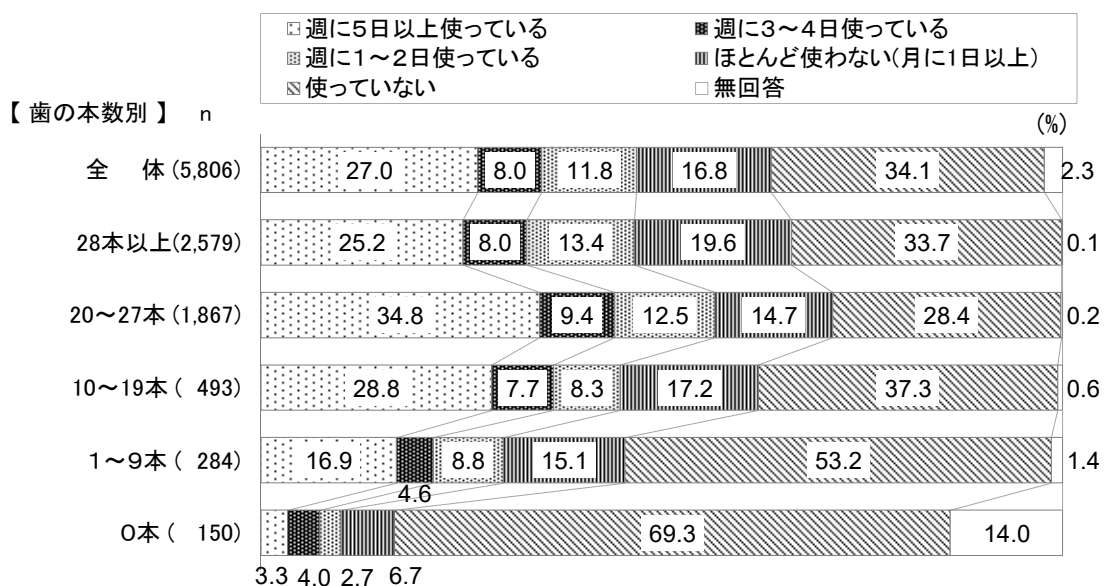
図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況（歯の本数別）



④ 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（問31）

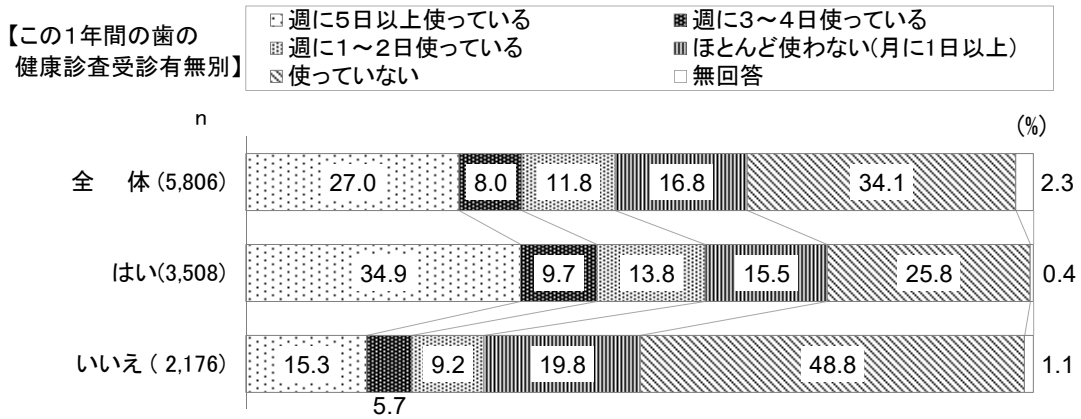
歯の本数（問28）別にみると、「週に5日以上使っている」は、20～27本ある人で34.8%と高くなっている。（図8-4-1）

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（歯の本数別）



この1年間の歯の健康診査受診有無別（問29）別にみると、「週に5日以上使っている」は、歯の健康診査を受診した人で34.9%と高くなっている。（図8-4-2）

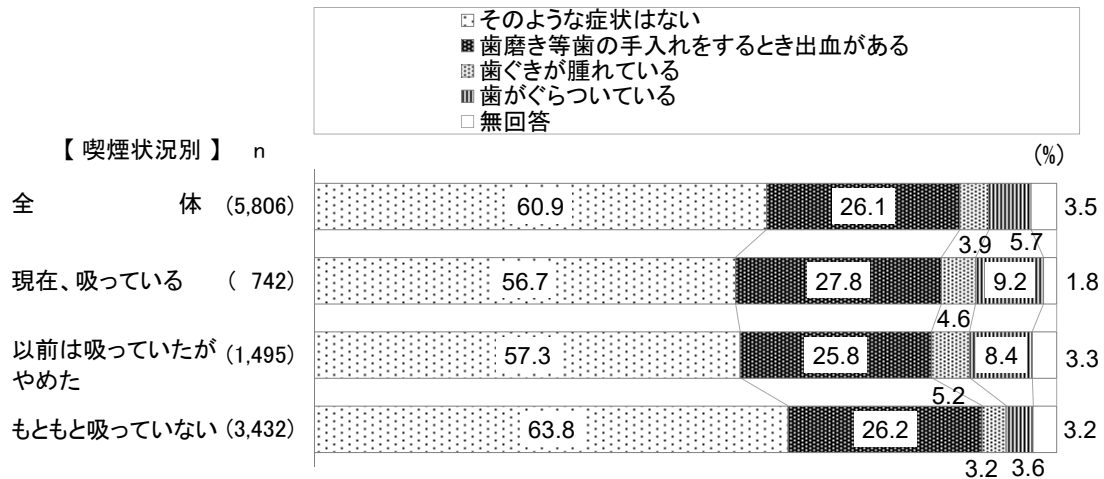
図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度
（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



⑤ 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（問32）

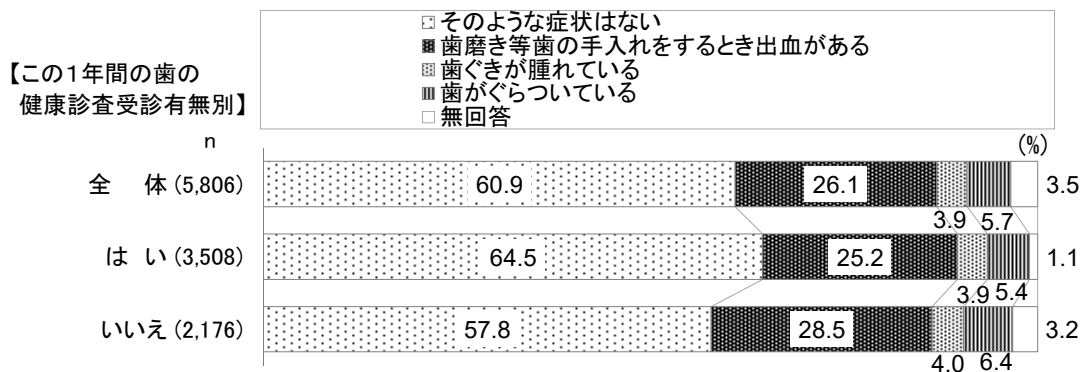
喫煙状況別（問25）別にみると、「そのような症状はない」は、たばこをもともと吸っていない人で63.8%と高くなっている。（図8-5-1）

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（喫煙状況別）



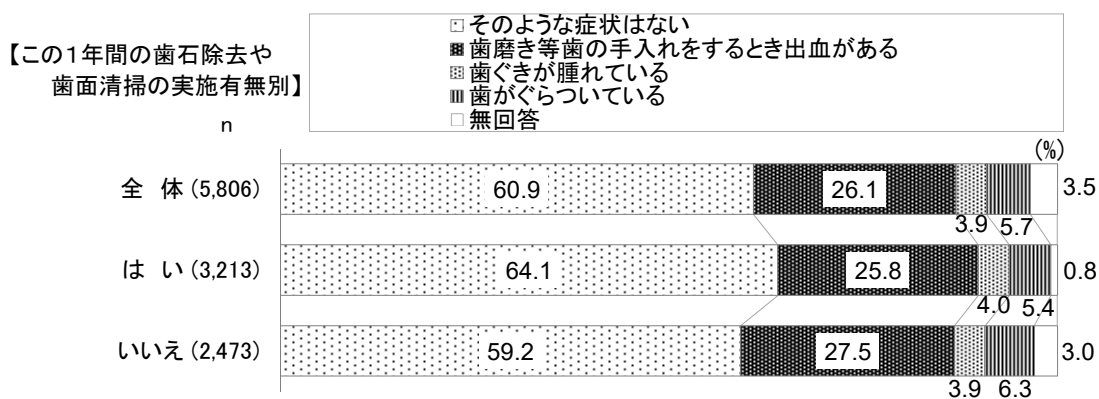
この1年間の歯の健康診査受診有無（問29）別にみると、「そのような症状はない」は歯の健康診査を受診した人で64.5%と高くなっている。（図8-5-2）

図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



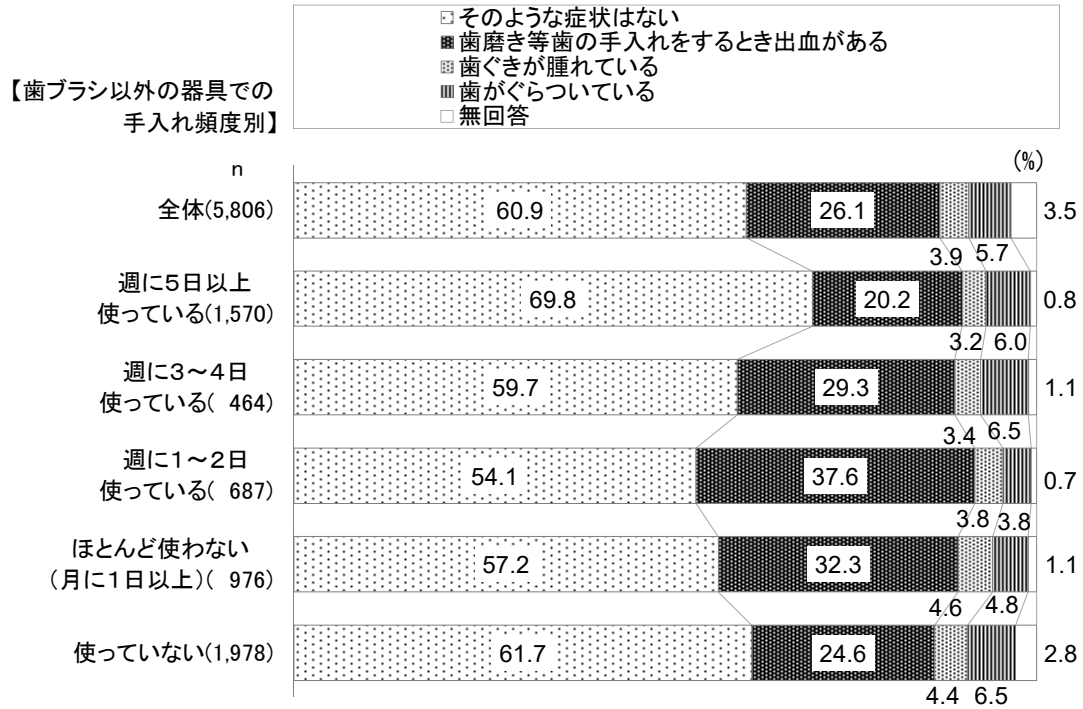
この1年間の歯石除去や歯面清掃の実施有無（問30）別にみると、「そのような症状はない」は、歯石除去や歯面清掃を受けている人で64.1%と高くなっている。（図8-5-3）

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（この1年間の歯石除去や歯面清掃の実施有無別）



歯ブラシ以外の器具での手入れ頻度（問31）別にみると、「そのような症状はない」は、週に5日以上使っている人で69.8%と高くなっている。（図8-5-4）

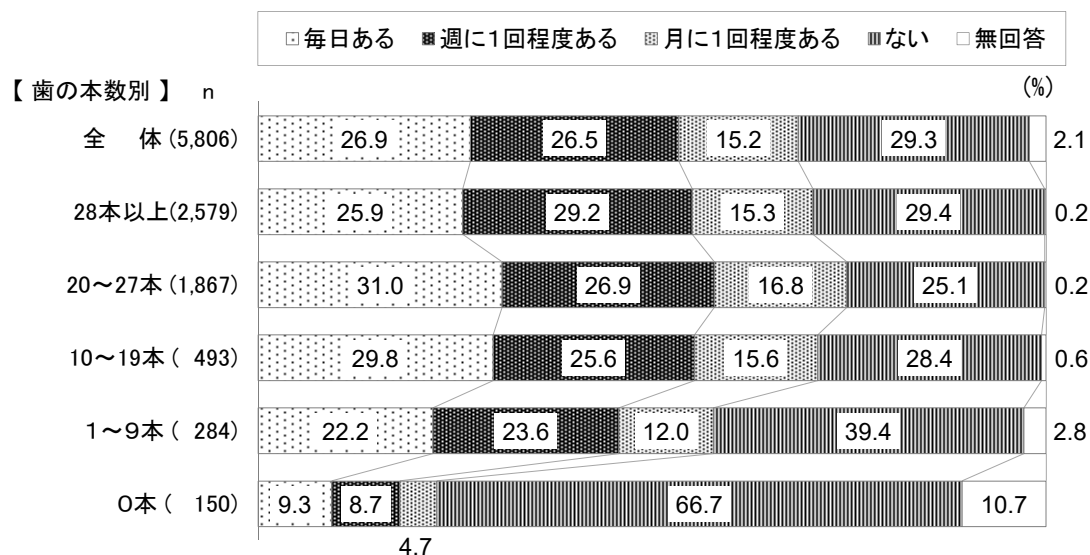
図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（歯ブラシ以外の器具での手入れ頻度別）



⑥ 口の中を観察する習慣（問33）

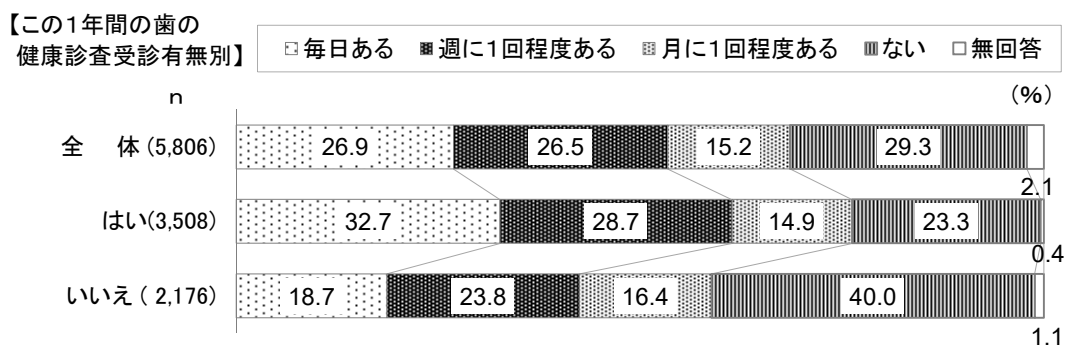
歯の本数（問28）別にみると、「毎日ある」は、20～27本の人で31.0%、10～19本の人で29.8%と高くなっている。（図8-6-1）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（歯の本数別）



この1年間の歯の健康診査受診有無（問29）別にみると、「毎日ある」は歯の健康診査を受診した人で32.7%と高くなっている。（図8-6-2）

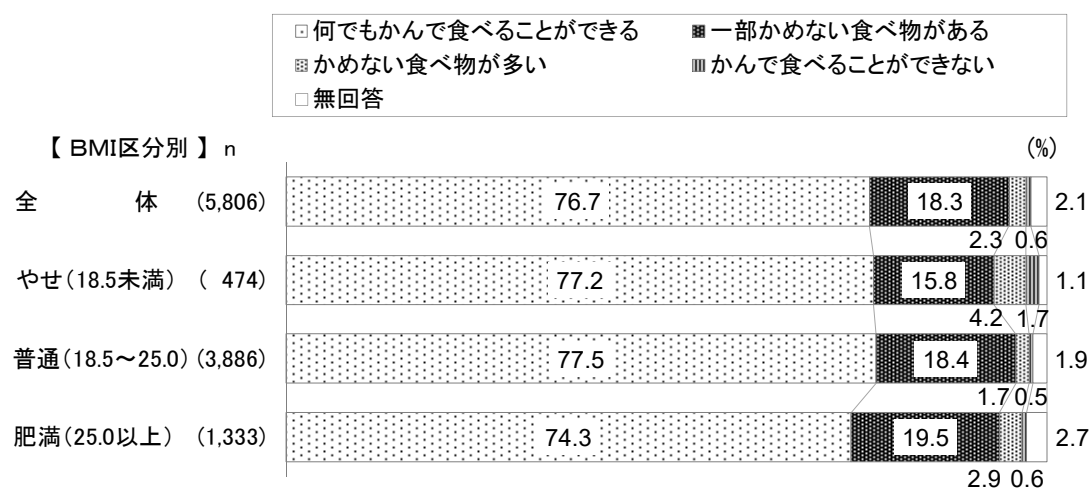
図8-6-2 口の中を観察する習慣（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



⑦ ものをかんで食べることができるか（問34）

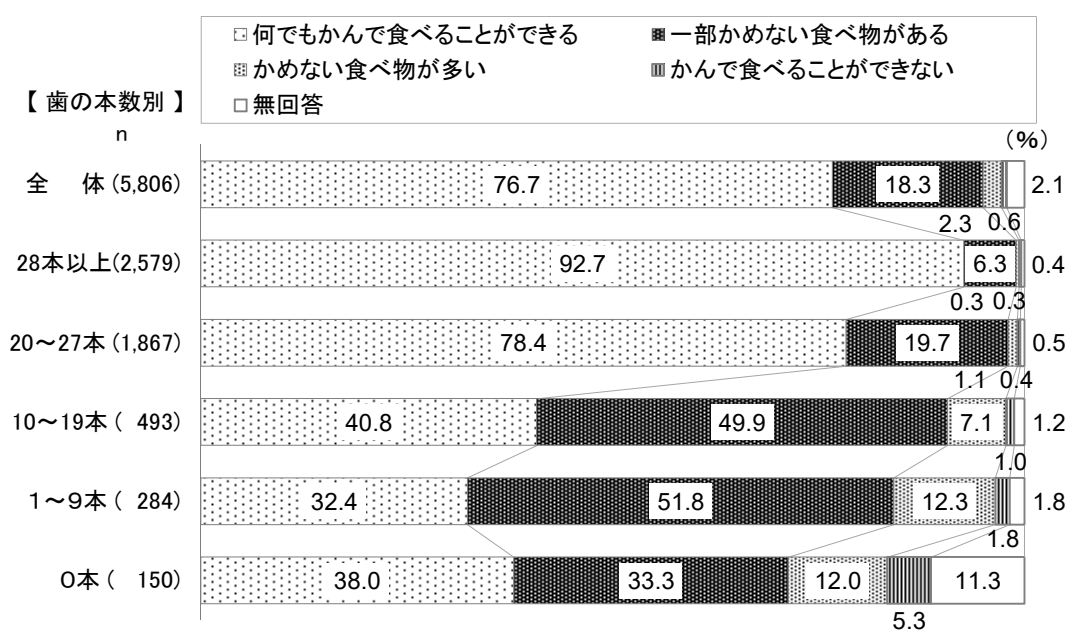
BMI区分（問10ア）別にみると「何でもかんで食べることができる」は、「肥満」で74.3%と「普通」（77.5%）、「やせ」（77.2%）よりも低くなっている。（図8-7-1）

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか（BMI区分別）



歯の本数（問28）別にみると、「何でもかんで食べることができる」は、歯の本数が多い人ほど高い傾向がみられ、28本以上の人で92.7%となっている。（図8-7-2）

図8-7-2 ものをかんで食べることができるか（歯の本数別）

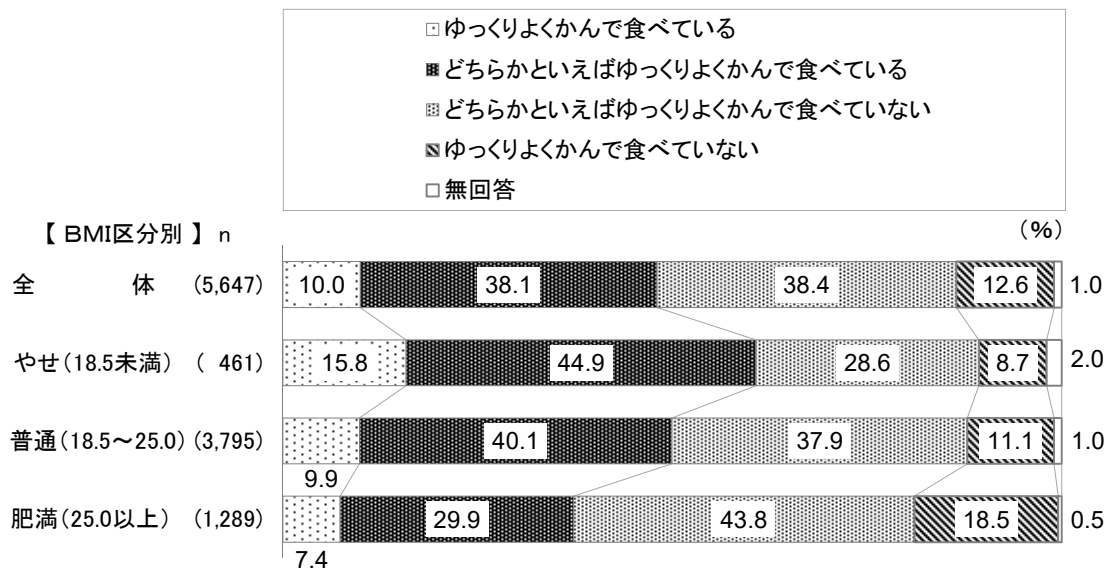


⑧ ふだんゆっくりよくかんで食べているか（問34-1）

BMI 区分（問10ア）別にみると「ゆっくりよくかんで食べている」「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」は、BMI 区分による肥満度の低い人ほど割合が高くなっている。

（図8-8-1）

図8-8-1 ふだんゆっくりよくかんで食べているか（BMI 区分別）

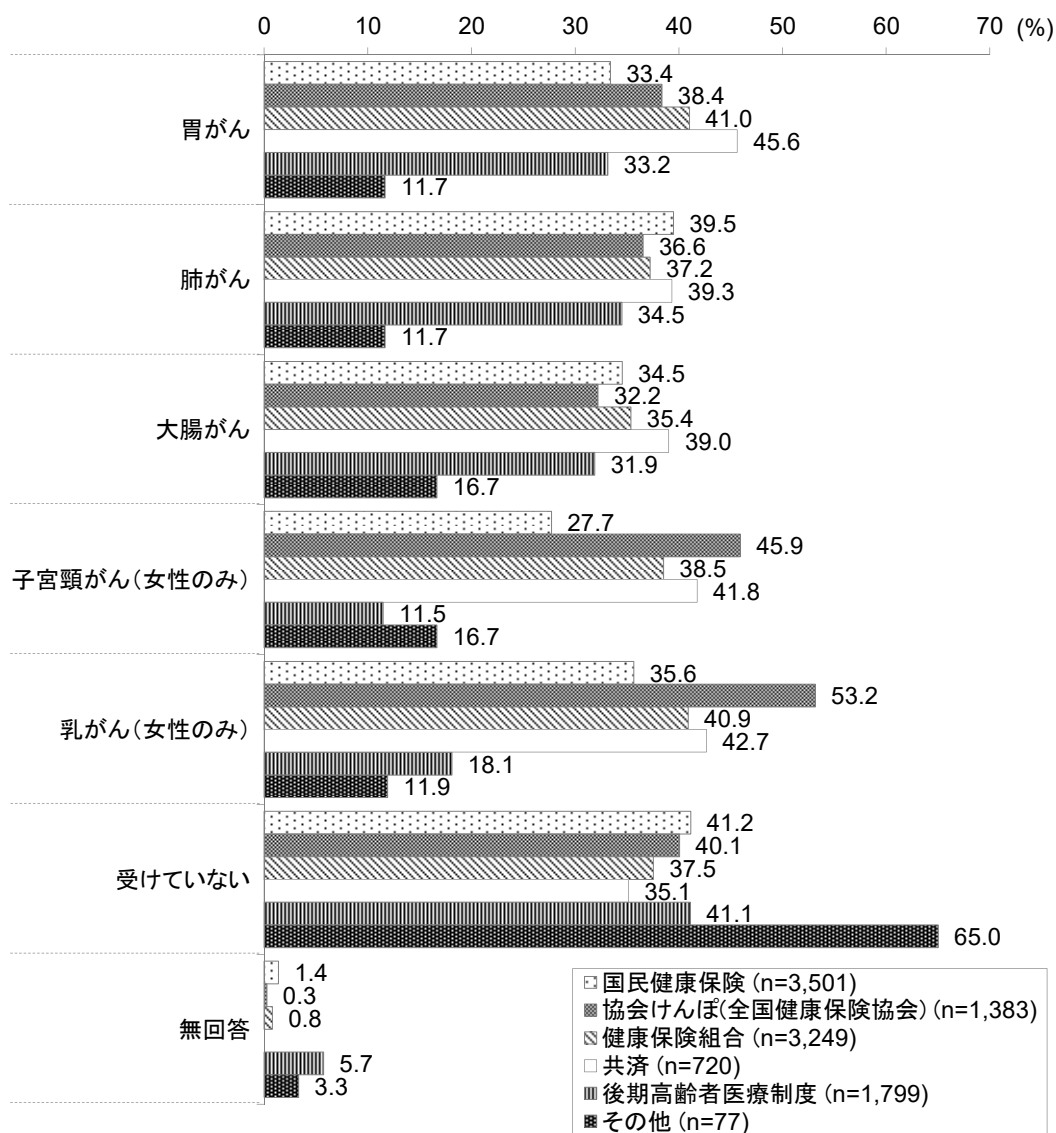


(9) がん検診

① 最近1年間のがん検診の受診状況 (問35)

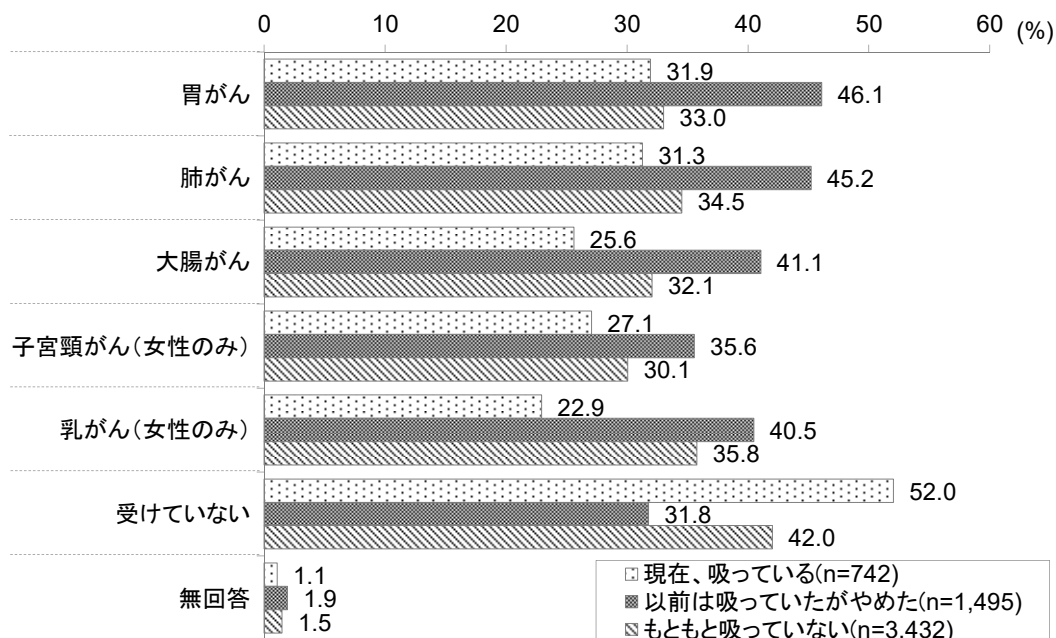
健康保険種別にみると「胃がん」「子宮頸がん」「乳がん」は、協会けんぽ、健康保険組合、共済で割合が高く、国民健康保険、後期高齢者医療制度で割合が低くなっている。また、「肺がん」では国民健康保険、「大腸がん」では共済で割合が高くなっている。(図9-1-1)

図9-1-1 最近1年間のがん検診の受診状況 (健康保険種別)



喫煙状況（問25）別にみると、いずれのがん検診でも以前吸っていたがやめた人で割合が高くなっている。（図9-1-2）

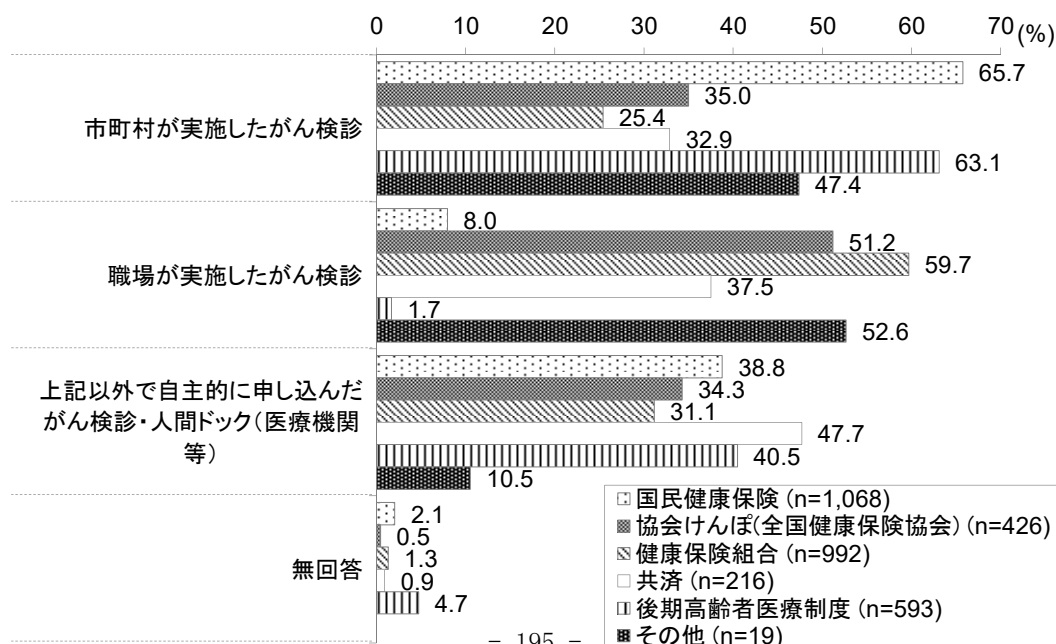
図9-1-2 最近1年間のがん検診の受診状況（喫煙状況別）



② がん検診の受診場所（問35-1）

健康保険種別にみると、「市町村が実施したがん検診」は国民健康保険（65.7%）と後期高齢者医療制度（63.1%）で高くなっている。「職場が実施したがん検診」は健康保険組合で59.7%と高くなっている。「自主的に申し込んだがん検診・人間ドック（医療機関等）」は共済が47.7%と高くなっている。（図9-2-1）

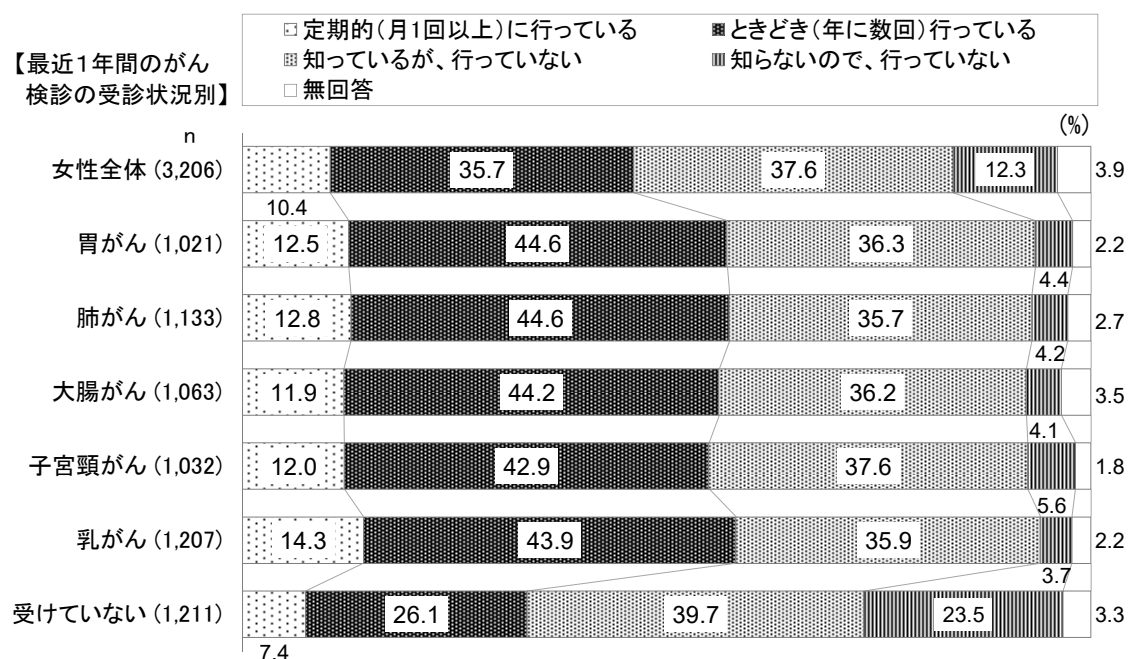
図9-2-1 がん検診の受診場所（健康保険種別）



③ 女性の乳がんの自己触診の実施状況（問 37）

最近1年間のがん検診の受診状況（問35）別にみると、「知らないので、行ってない」はがん検診を受けていない人で23.5%となっており、乳がん検診を受けている人（3.7%）より19.8ポイント高くなっている。（図9-3-1）

図9-3-1 女性の乳がんの自己触診の実施状況（最近1年間のがん検診の受診状況別）

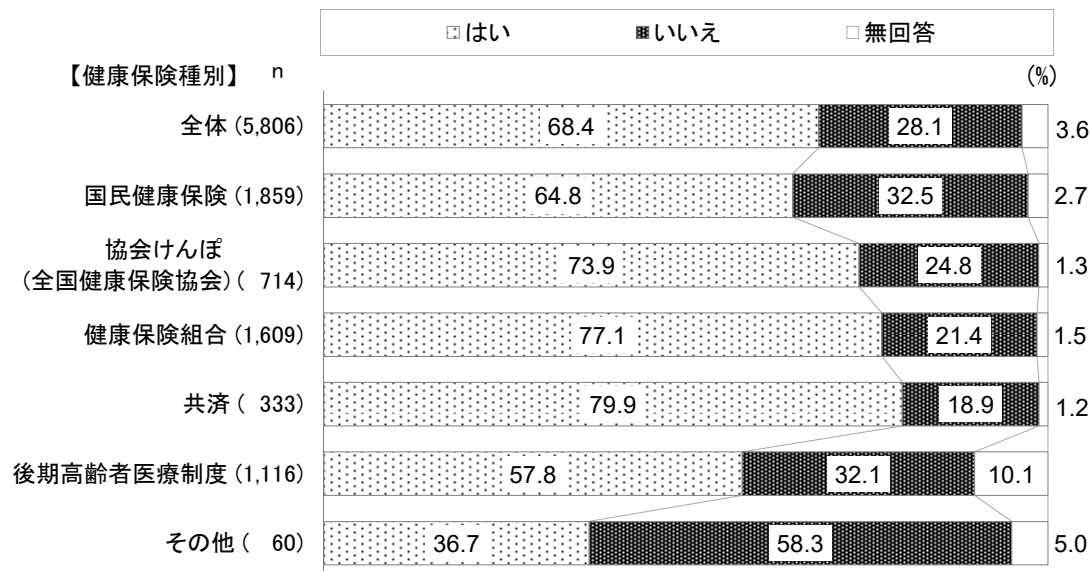


(10) 健康診断

① 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（問38）

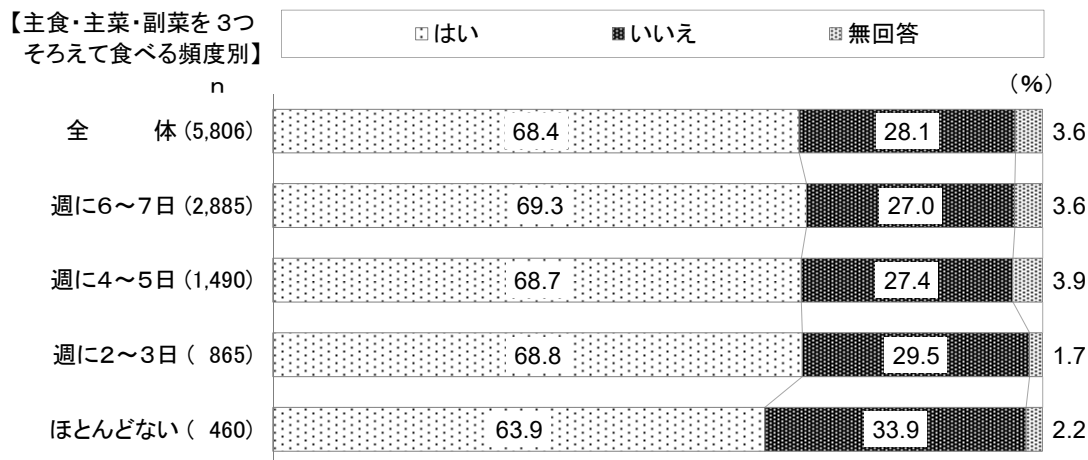
健康保険種別にみると、「はい」は健康保険組合で77.1%、共済で79.9%と高くなっている。「いいえ」は国民健康保険で32.5%、後期高齢者医療制度で32.1%と高くなっている。（図10-1-1）

図10-1-1 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（健康保険種別）



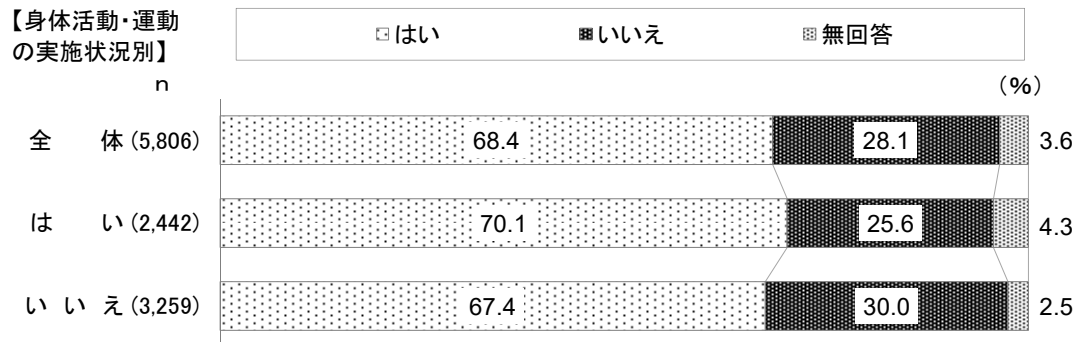
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）別にみると、週に2日以上では大きな差はみられない。（図10-1-2）

図10-1-2 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況
（主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度別）



身体活動・運動の実施状況（問18）別にみると、1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）を実施している人は、「はい」が70.1%と、実施していない人（67.4%）に比べ高くなっている。（図10-1-3）

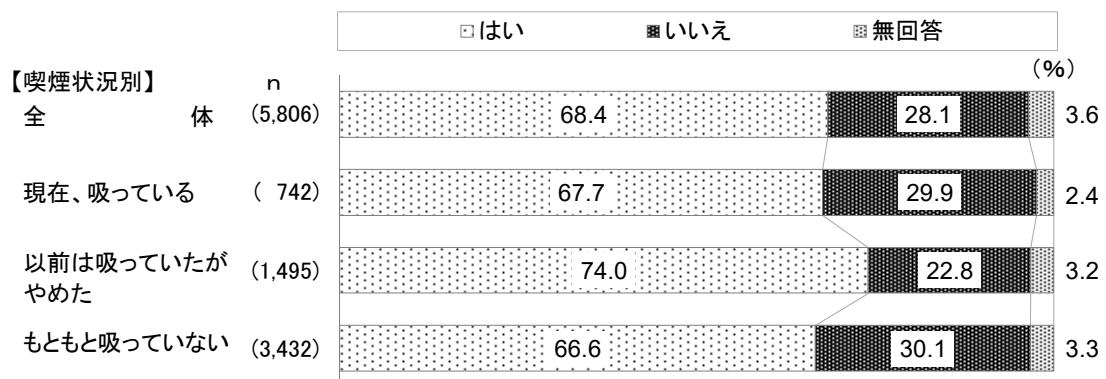
図10-1-3 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（身体活動・運動の実施状況別）



喫煙状況（問25）別にみると、「はい」の割合が、現在吸っている人（67.7%）、以前は吸っていたがやめた人（74.0%）のほうが、もともと吸っていない人（66.6%）よりも高くなっている。

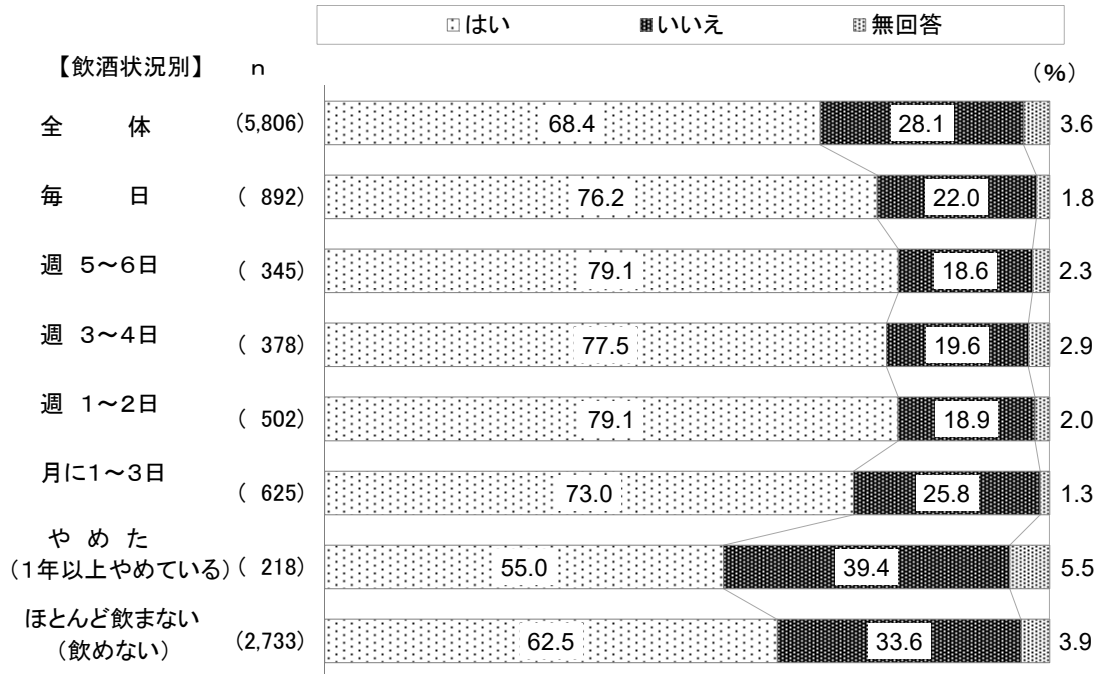
（図10-1-4）

図10-1-4 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（喫煙状況別）



飲酒状況別（問26）別にみると、「いいえ」は、飲酒をやめた人で39.4%、ほとんど飲まない人で33.6%となっており、飲酒している人に比べて割合が高くなっている。（図10-1-5）

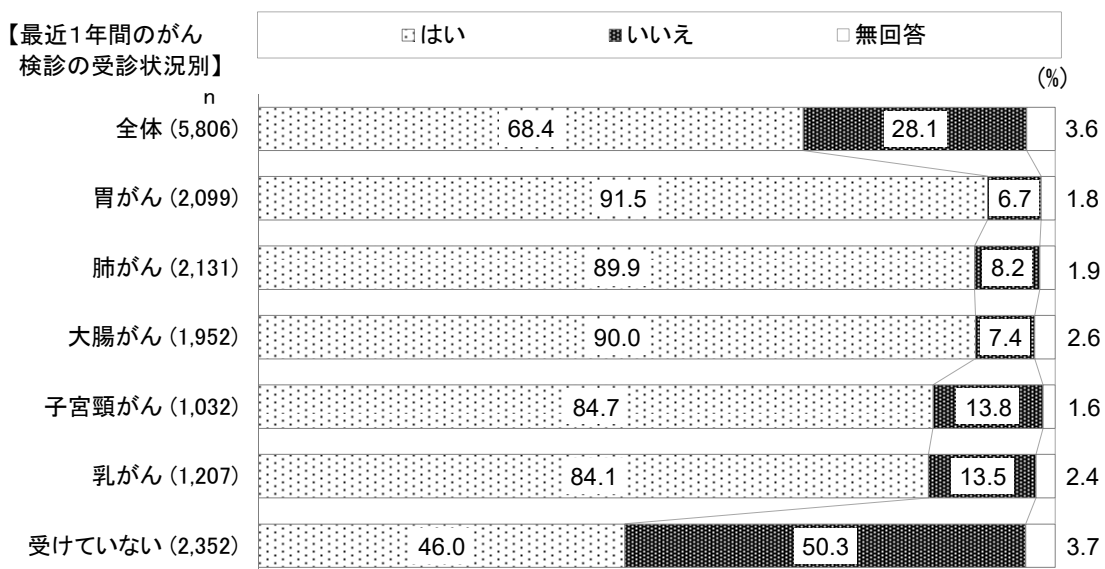
図10-1-5 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（飲酒状況別）



最近1年間のがん検診受診状況（問35）別にみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で50.3%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

（図10-1-6）

図10-1-6 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（最近1年間のがん検診受診状況別）



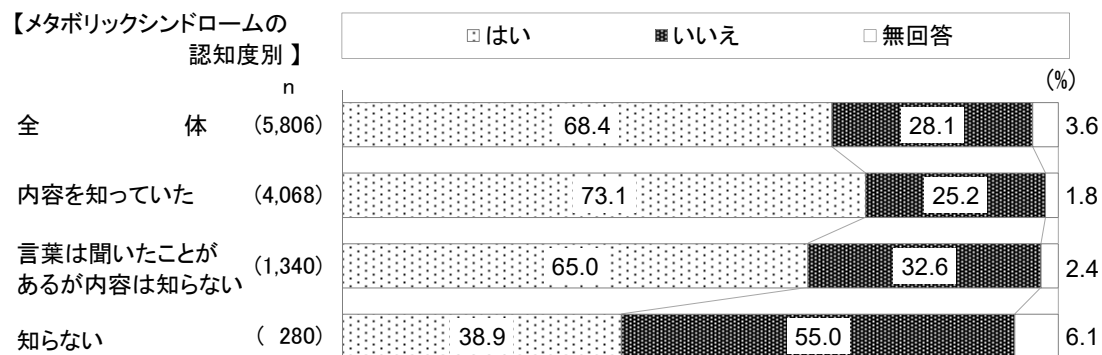
医師から言われている・治療中の病気や症状の有無（問39）別にみると、「はい」は病気や症状がある人で68.6%、病気や症状がない人で68.0%となり、大きな差はみられない。（図10-1-7）

図10-1-7 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況
（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）



メタボリックシンドロームの認知度（問40）別にみると、「はい」は内容を知っていた人で73.1%、言葉は聞いたことがあるが内容は知らない人で65.0%となっており、知らない人（38.9%）に比べ高くなっている。（図10-1-8）

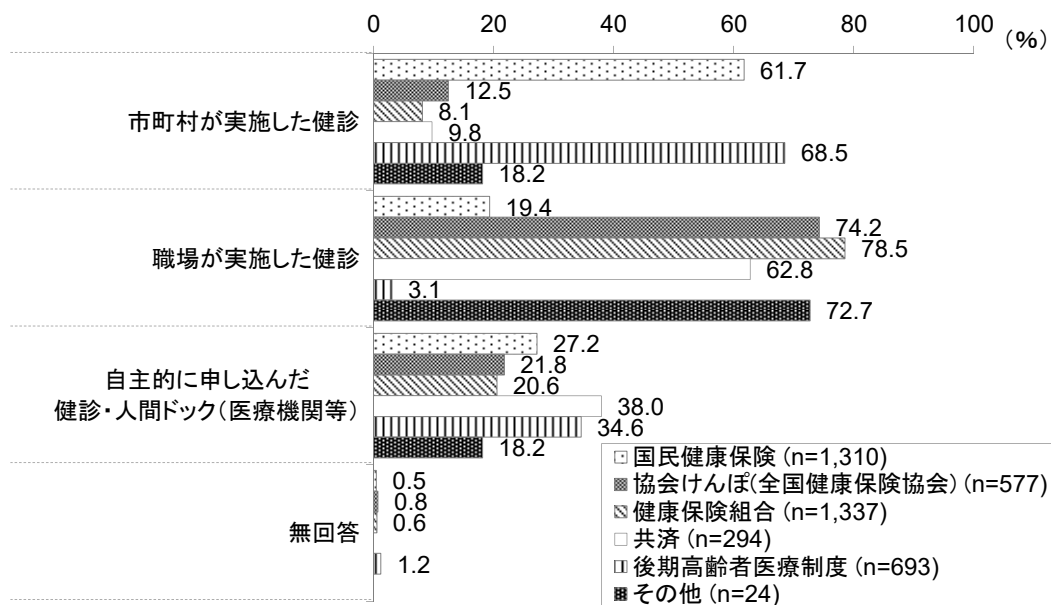
図10-1-8 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（メタボリックシンドロームの認知度別）



② 健診や人間ドックの受診場所（問 38-1）

健康保険種別にみると、「市町村が実施した健診」は後期高齢者医療制度で68.5%、国民健康保険で61.7%と高くなっている。「職場が実施した健診」は健康保険組合で78.5%、協会けんぽで74.2%と高くなっている。（図10-2-1）

図10-2-1 健診や人間ドックの受診場所（健康保険種別）

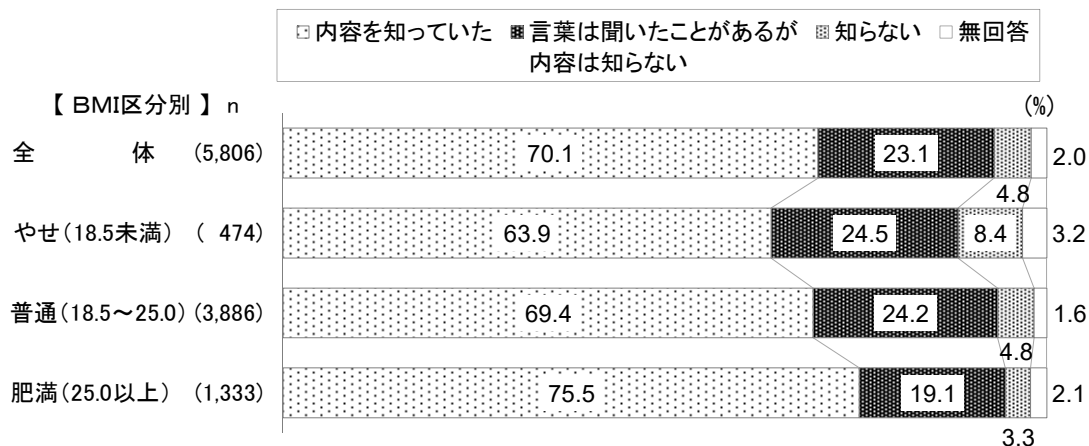


(11) 健康に関する情報

① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度（問40）

BMI区分（問10ア）別にみると、「内容を知っていた」はBMI区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。（図11-1-1）

図11-1-1 メタボリックシンドロームの認知度（BMI区分別）

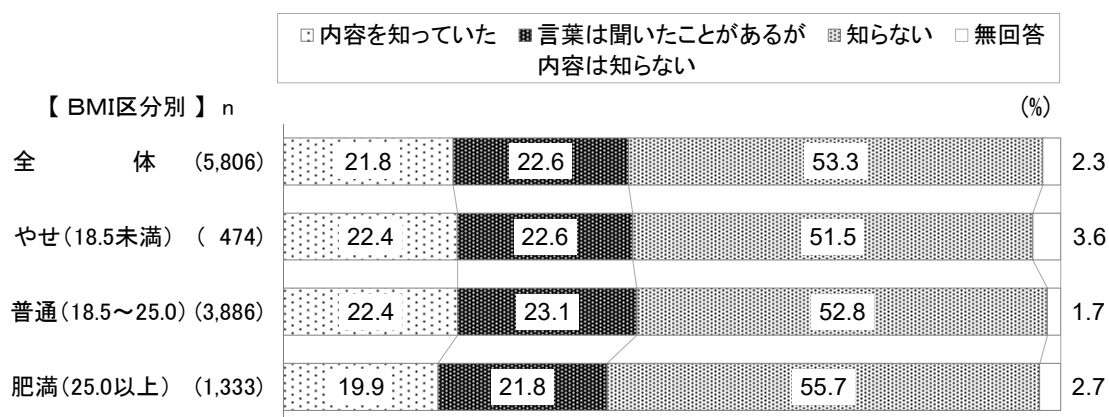


② ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（問41）

BMI区分（問10ア）別にみると、「知らない」は「肥満」で割合が高くなっている。

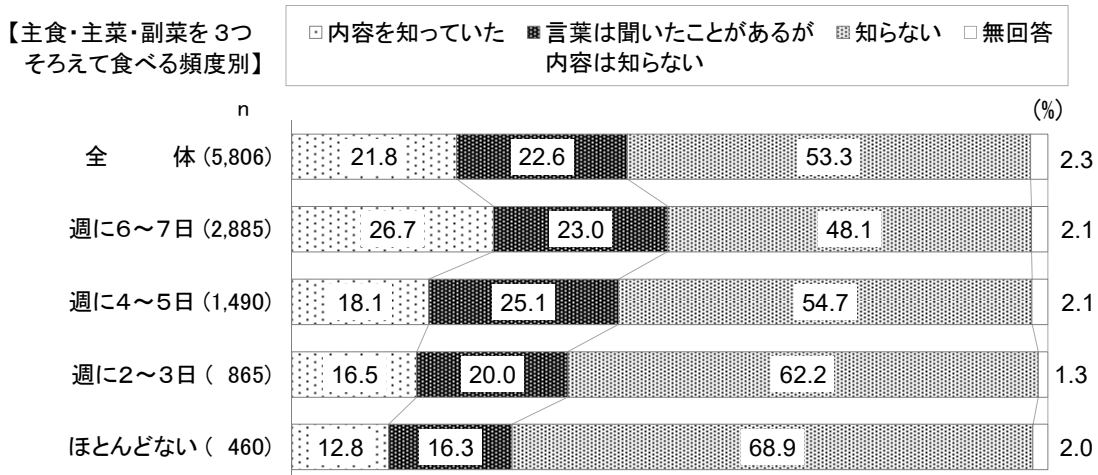
（図11-2-1）

図11-2-1 ロコモティブシンドロームの認知度（BMI区分別）



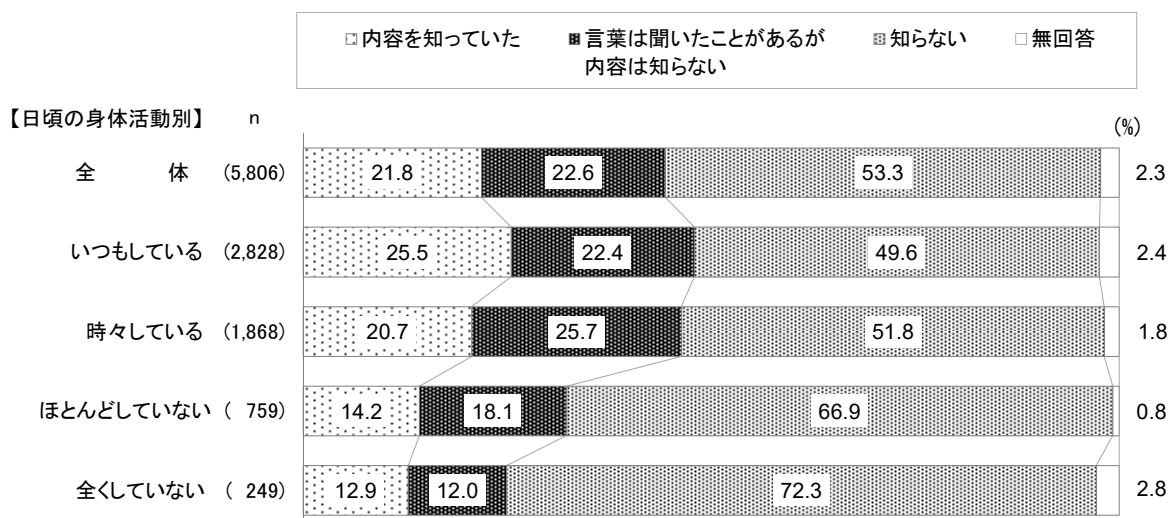
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）別にみると、「内容を知っていた」は頻度が多い人ほど高くなり、週に6～7日食べる人で26.7%と最も高くなっている。（図11-2-2）

図11-2-2 ロコモティブシンドロームの認知度
（主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度別）



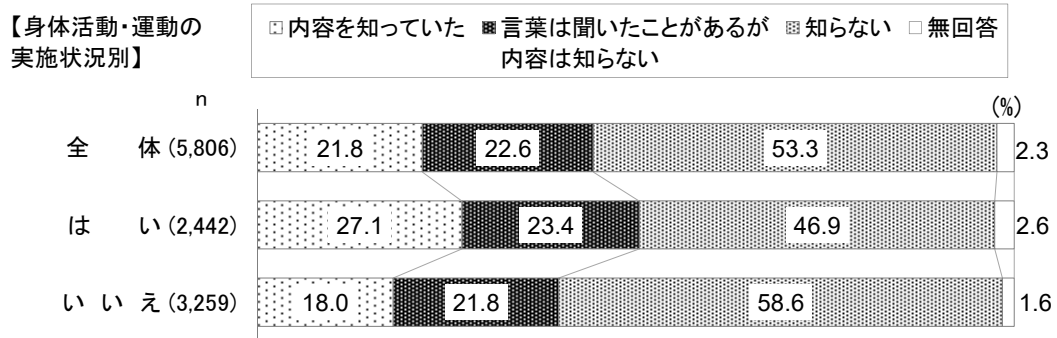
日頃の身体活動（問17）別にみると、「内容を知っていた」は身体活動をしている人ほど高くなり、いつもしている人で25.5%と最も高くなっている。（図11-2-3）

図11-2-3 ロコモティブシンドロームの認知度（日頃の身体活動別）



身体活動・運動の実施状況（問18）別にみると、1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）を実施していない人は「知らない」が58.6%となっており、実施している人（46.9%）より11.7ポイント高くなっている。（図11-2-3）

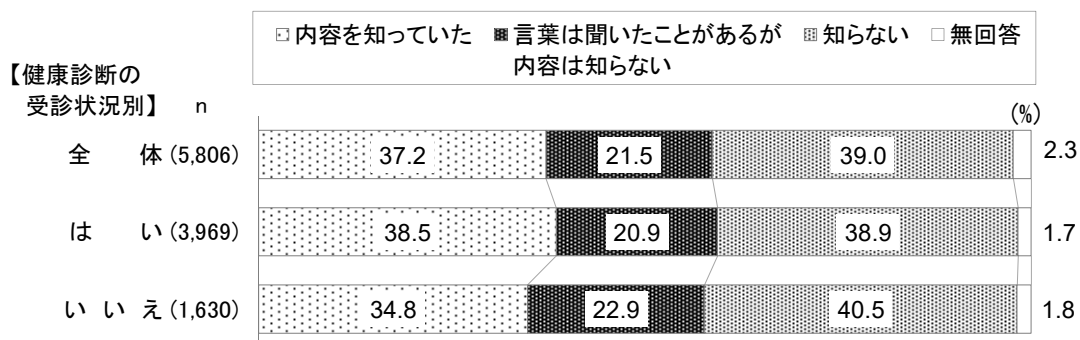
図11-2-3 ロコモティブシンドロームの認知度（身体活動・運動の実施状況別）



③ 糖尿病性腎症の認知度（問 42）

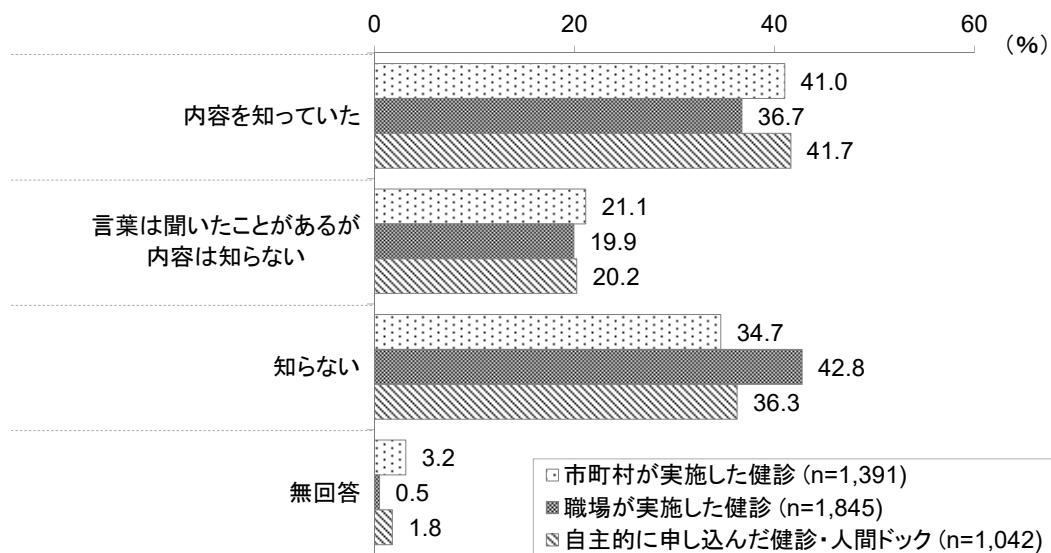
健康診断の受診状況（問38）別にみると、「知らない」は健康診断を受診していない人で割合が高くなっている。（図11-3-1）

図11-3-1 糖尿病性腎症の認知度（健康診断の受診状況別）



健診や人間ドックの受診場所（問 38-1）別にみると、「内容を知っていた」は市町村が実施した健診で 41.0%、自主的に申し込んだ健診・人間ドックで 41.7%と高くなっている。「知らない」は職場が実施した健診で 42.8%と高くなっている。（図 11-3-2）

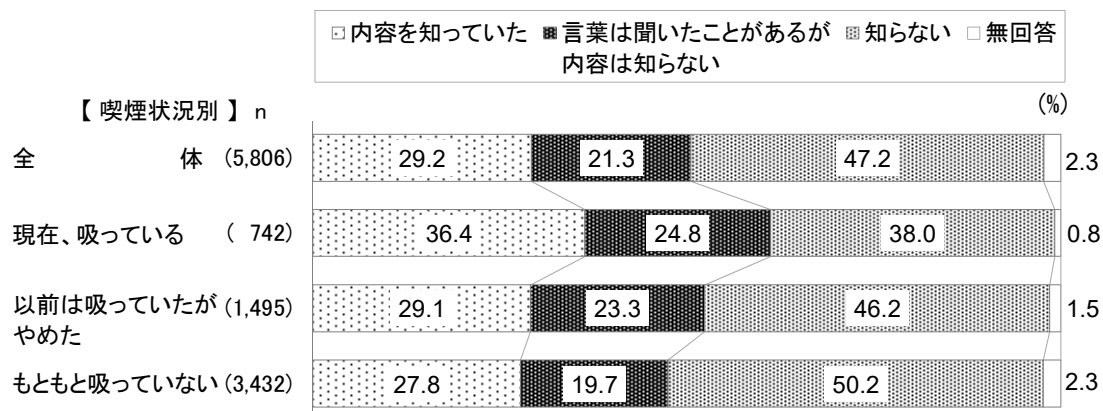
図11-3-2 糖尿病性腎症の認知度（健診や人間ドックの受診場所別）



④ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（問 43）

喫煙状況（問25）別にみると、「内容を知っていた」は現在吸っている人で36.4%となっており、以前は吸っていたがやめた人（29.1%）、もともと吸っていない人（27.8%）に比べて高くなっている。（図11-4-1）

図11-4-1 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（喫煙状況別）

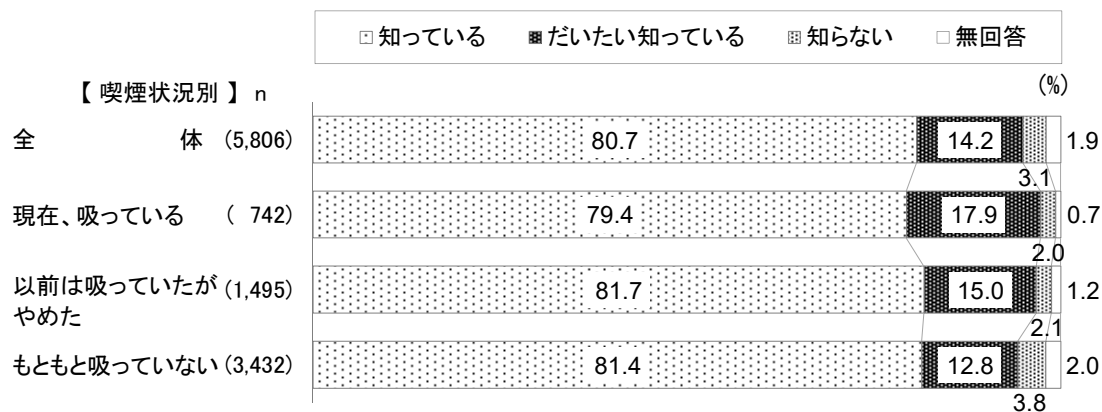


(12) 受動喫煙の防止

① 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（問 44）

喫煙状況（問25）別にみると、「知っている」は、以前は吸っていたがやめた人で81.7%、もともと吸っていない人で81.4%となっており、現在吸っている人（79.4%）に比べて割合がやや高くなっている。（図12-1-1）

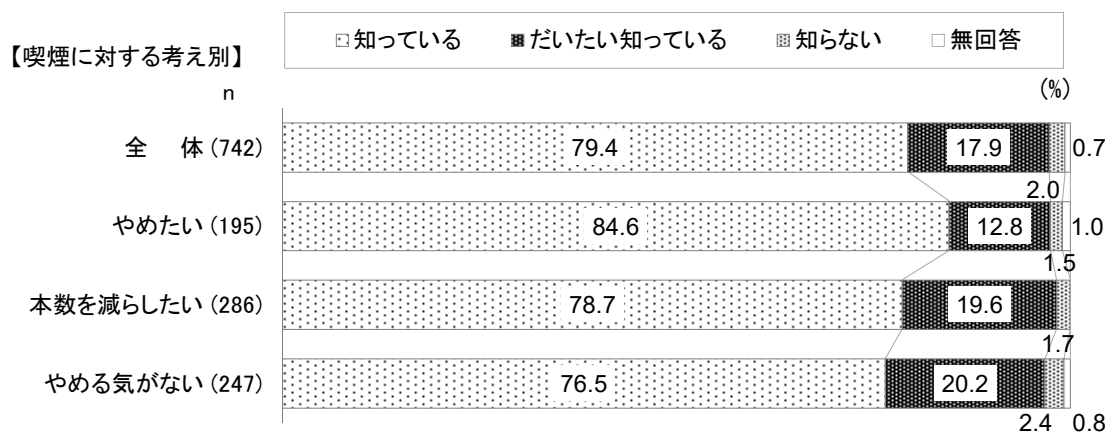
図12-1-1 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙状況別）



喫煙に対する考え（問25-4）別にみると、「知っている」はたばこをやめたい人で84.6%となっており、本数を減らしたい人（78.7%）、やめる気がない人（76.5%）に比べて高くなっている。

（図12-1-2）

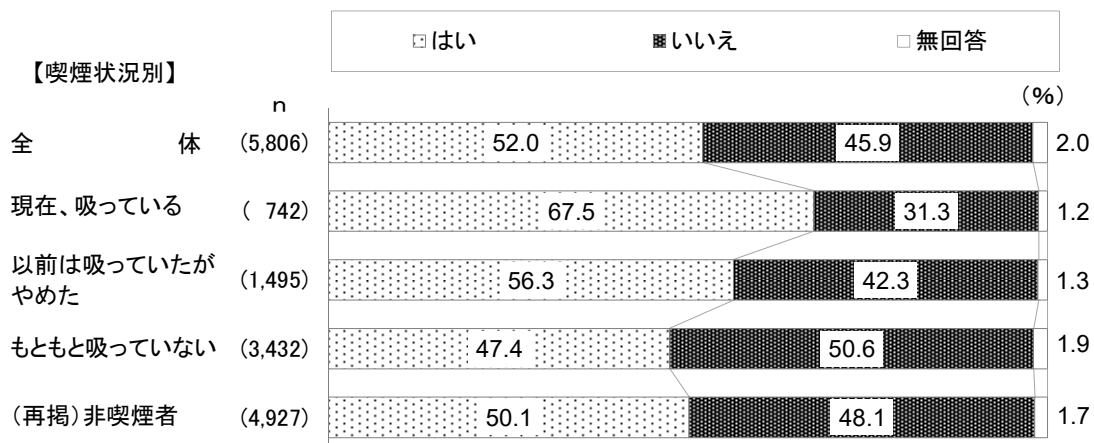
図12-1-2 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙に対する考え別）



② 受動喫煙の機会の有無（問 45）

喫煙状況（問25）別にみると、「はい」は、現在吸っている人が67.5%で、もともと吸っていない人（47.4%）よりも20.1ポイント高くなっている。また、非喫煙者の「はい」は46.3%となっている。（図12-2-1）

図12-2-1 受動喫煙の機会の有無（喫煙状況別）

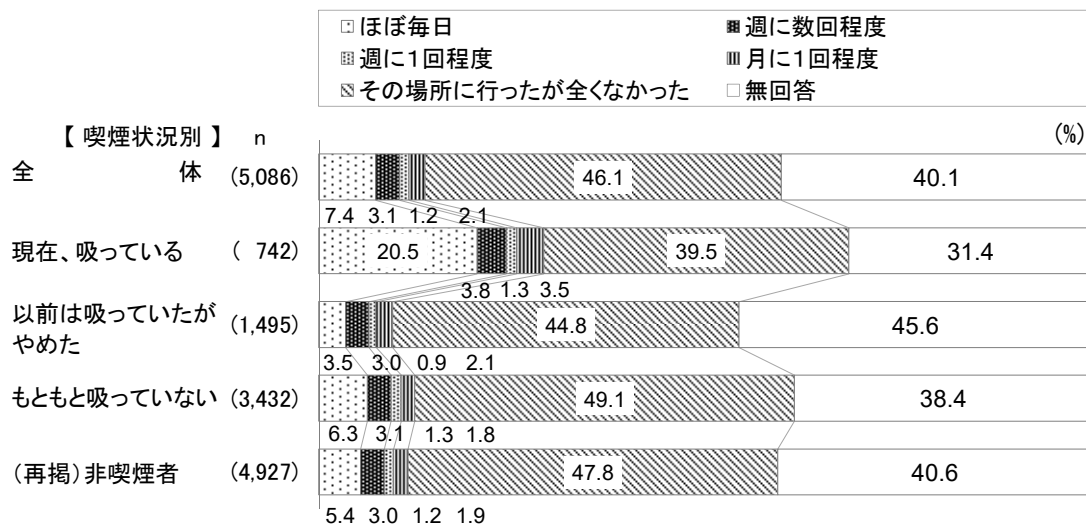


③ 受動喫煙があった場所（問46）

ア 自宅（問46ア）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で20.5%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。また、「ほぼ毎日」は非喫煙者で5.4%となっている。（図12-3-1）

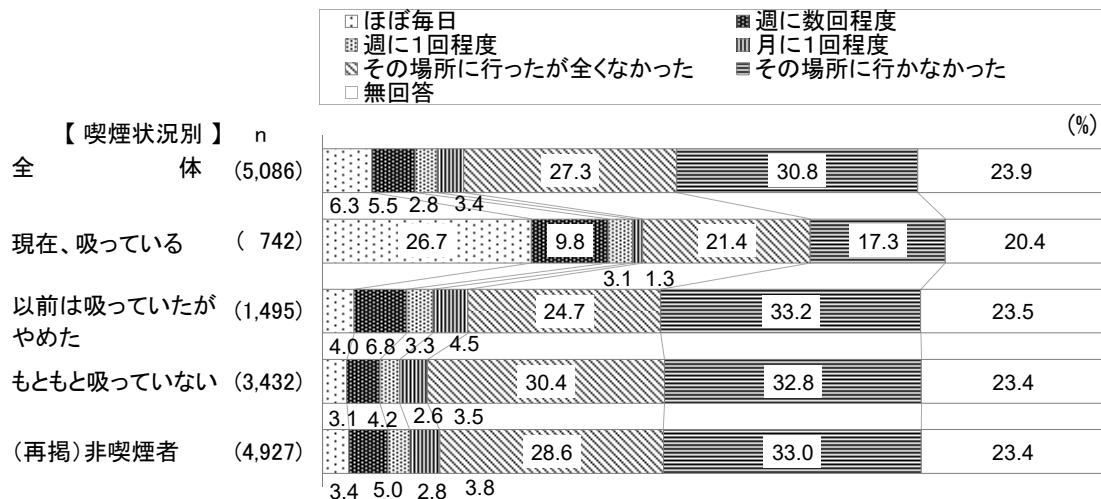
図12-3-1 受動喫煙があった場所 ア 自宅（喫煙状況別）



イ 職場（問46イ）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で26.7%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。また、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、非喫煙者で15.0%となっている。（図12-3-2）

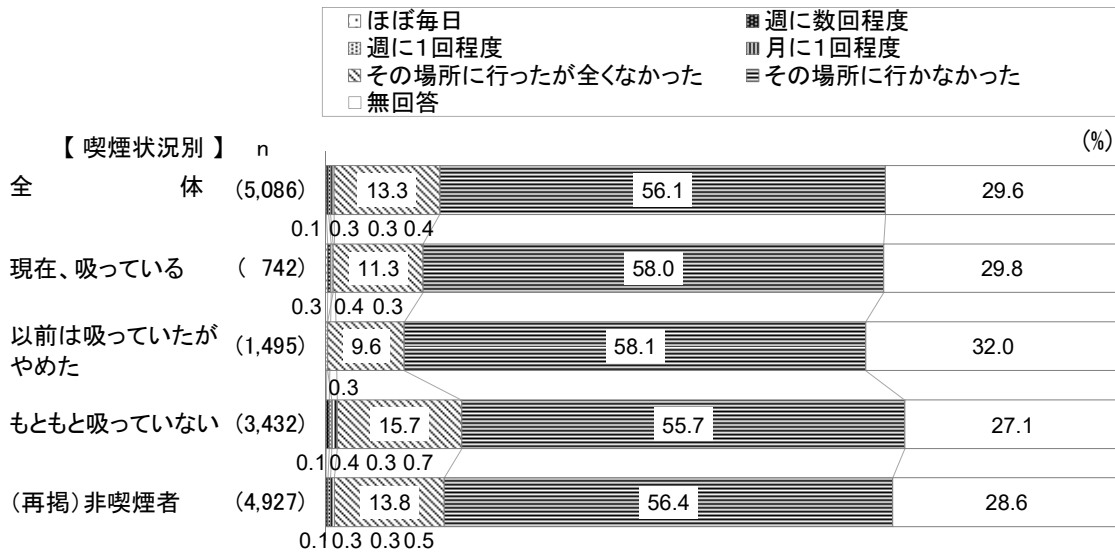
図12-3-2 受動喫煙があった場所 イ 職場（喫煙状況別）



ウ 学校（問46ウ）

喫煙状況（問25）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-3）

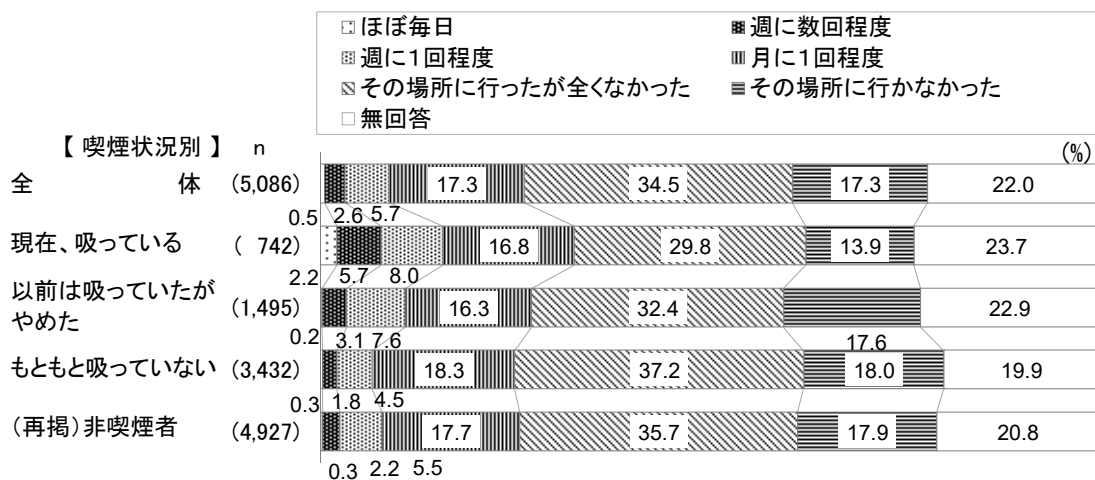
図12-3-3 受動喫煙があった場所 ウ 学校（喫煙状況別）



エ 飲食店（問46エ）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、現在吸っている人で32.7%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。また、非喫煙者の《あった》は25.7%となっている。（図12-3-4）

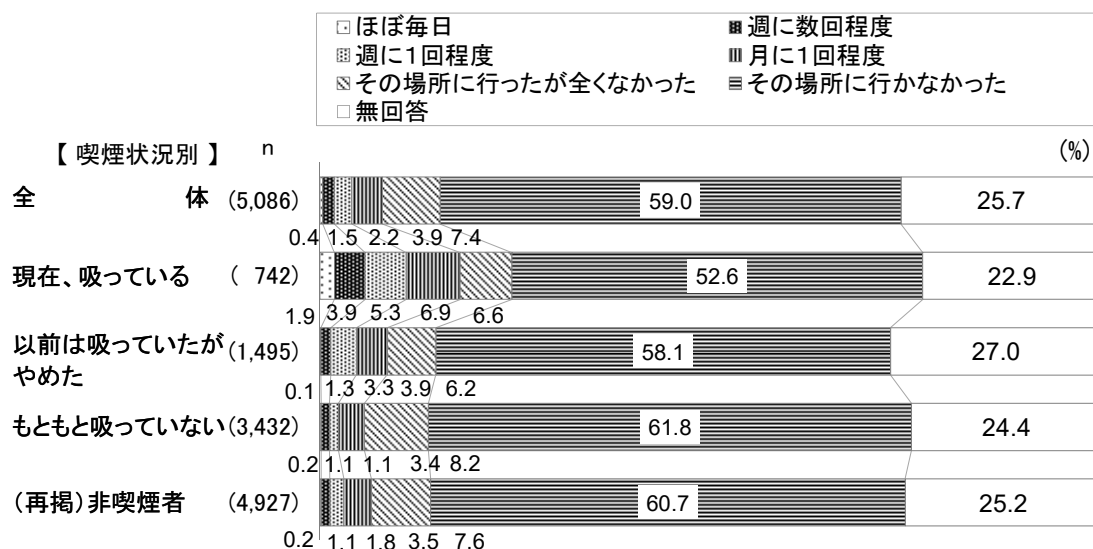
図12-3-4 受動喫煙があった場所 エ 飲食店（喫煙状況別）



オ 遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬など）（問46オ）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、現在吸っている人で18.0%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図12-3-5）

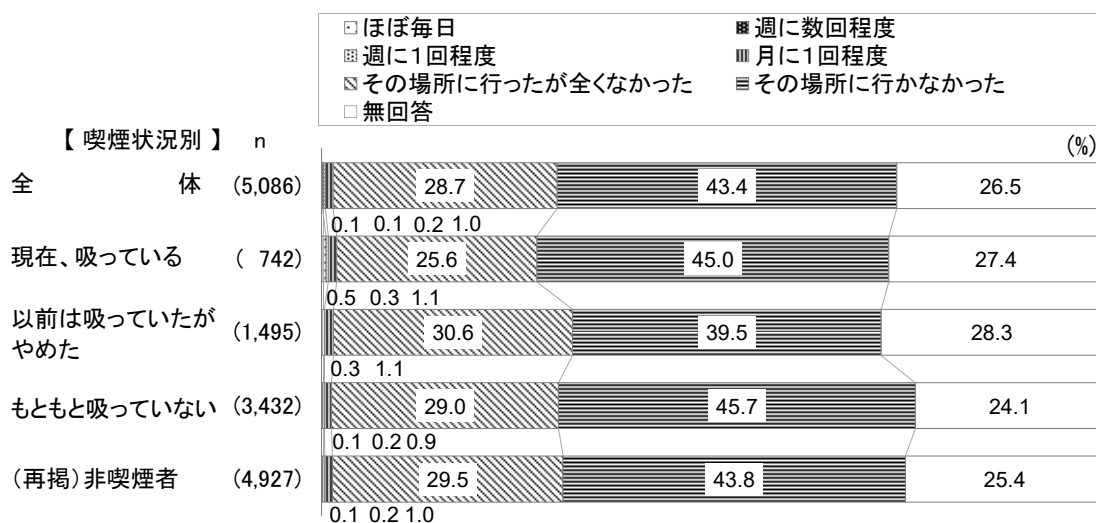
図12-3-5 受動喫煙があった場所 オ 遊技場（喫煙状況別）



カ 行政機関（市役所、役場など）（問46カ）

喫煙状況（問25）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-6）

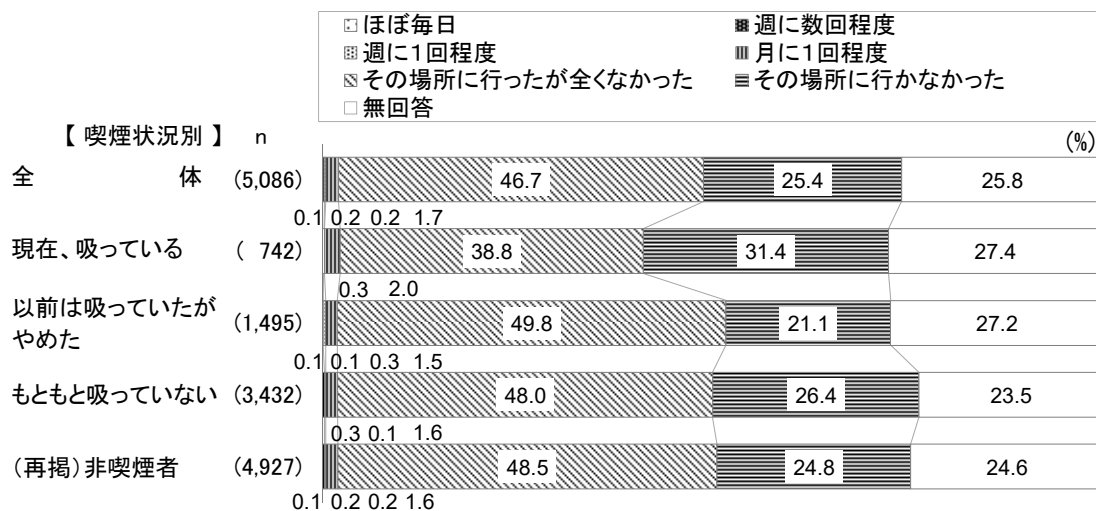
図11-3-6 受動喫煙があった場所 カ 行政機関（喫煙状況別）



キ 医療機関（問46キ）

喫煙状況（問25）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-7）

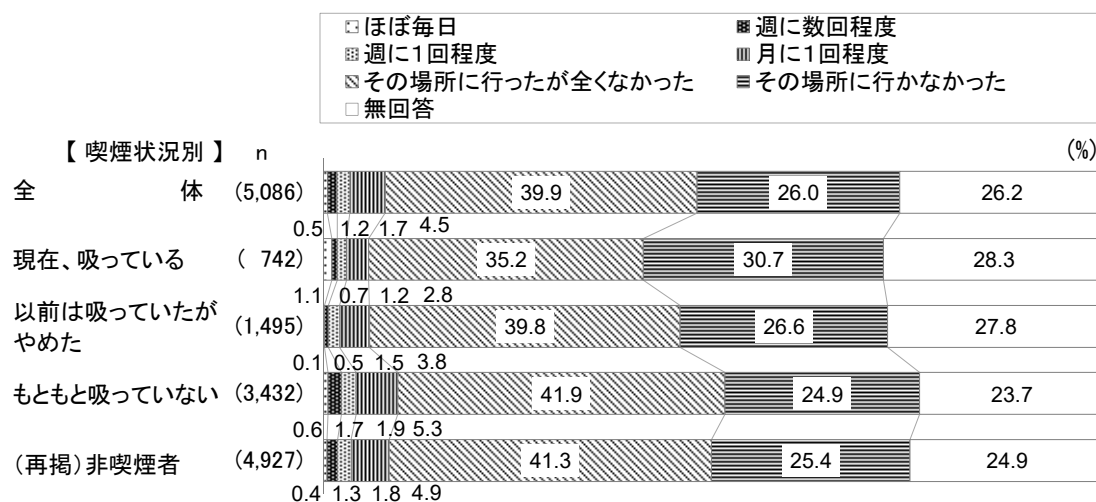
図12-3-7 受動喫煙があった場所 キ 医療機関（喫煙状況別）



ク 公共交通機関（問46ク）

喫煙状況（問25）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-8）

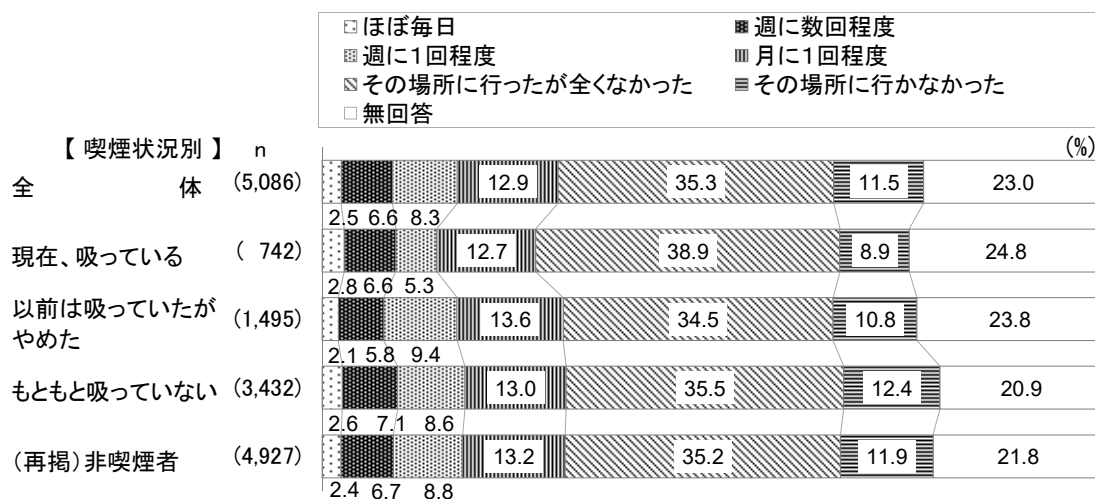
図12-3-8 受動喫煙があった場所 ク 公共交通機関（喫煙状況別）



ケ 路上（問46ケ）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、もともと吸っていない人で31.3%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。また、非喫煙者の《あった》は31.1%となっている。（図12-3-9）

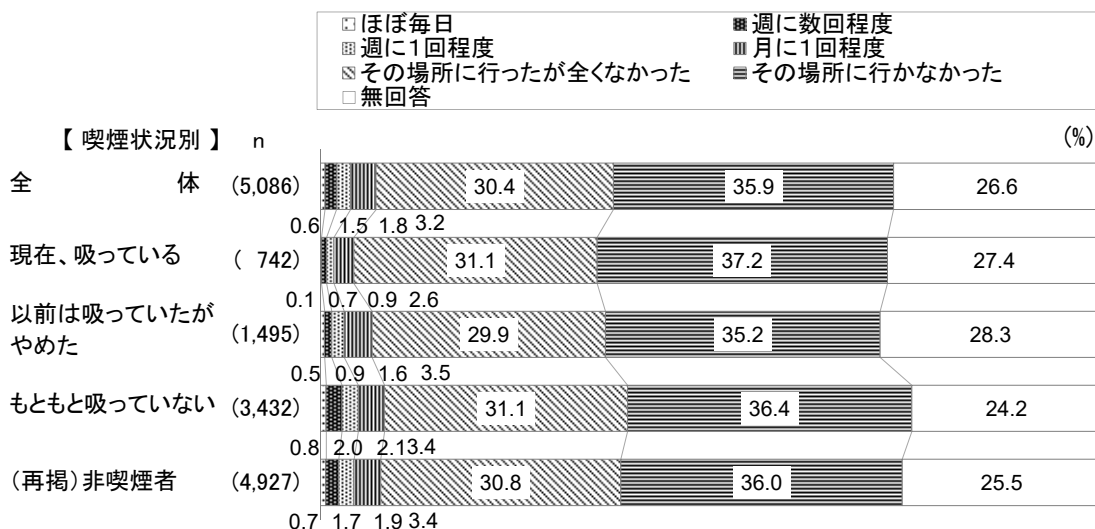
図12-3-9 受動喫煙があった場所 ケ 路上（喫煙状況別）



コ 子供が利用する屋外の空間（公園、通学路など）（問46コ）

喫煙状況（問25）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、もともと吸っていない人で8.3%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。（図12-3-10）

図12-3-10 受動喫煙があった場所 コ 子供が利用する屋外の空間（喫煙状況別）



③ 【参考】受動喫煙の機会を有する者の割合

	非喫煙者全体 (行かなかった人、無回答者を除く)	受動喫煙があった人					その場所に行つたが 全くなかつた	受動喫煙の 機会を有す る者の割合
		ほぼ毎日	週に数回程度	週に1回程度	月に1回程度			
ア 自宅	2,926	268	268	150	58	94	2,356	9.2%
イ 職場	2,149	738	166	246	138	188	1,411	34.3%
エ 飲食店	3,022	1,263	13	110	269	871	1,759	41.8%
カ 行政機関	1,520	67	1	6	12	48	1,453	4.4%
キ 医療機関	2,491	99	3	11	8	77	2,392	4.0%

(※P312、314、318、322、324 参照)

④ 原則屋内禁煙の認知度 (問 47)

喫煙状況 (問25) 別にみると、「はい」は現在吸っている人で81.7%、以前は吸っていたがやめた人で73.6%となっており、もともと吸っていない人 (69.3%) に比べ高くなっている。

(図12-3-11)

図12-3-11 原則屋内禁煙の認知度 (喫煙状況別)

